

「育ちと学びをつなぐ 小学校入学前教育カリキュラム」パンフレット

令和5年
3月版

5歳児指導 **ポイント** 集 **改訂版**

見たいところをクリック！



こんなときに
役立ちます！

本資料の活用ガイド

前期 進級当初～

中期 秋の運動会頃

後期 就学時健診～

事例集

事例の見方ガイドは
[こちら](#)

【各期の内容】

- ◆期の初めに見られる幼児の姿
- ◆こんなふうを受け止めましょう
- ◆この期に大切なこと
- ◆身に付けさせたい内容と
指導のポイント
- ◆具体的な活動例
- ◆家庭との連携

◆こんなときに役立ちます！

- 初めて5歳児を担当するんだけど、どんな姿なのか知りたい！
- 幼児にどんなことを身に付けられるようにすればいいのかな？
- 今の時期には、保育者は特に何を大切にすればいいのかな？
- 具体的な活動例*や、指導のポイントが知りたい！
*指導のポイントをより理解できるように、一部に写真を掲出しています。指導の一例として御参照ください。
- 保育者の指導の意図を、保護者に分かりやすく説明したい！
- 園内研究やOJTに使える資料はないかな？



本資料は「[小学校入学前教育カリキュラム改訂版（令和2年3月）](#)」と併せて見ることで、より理解が深まるように作られています。関連ページを示していますので、気になったときには「[小学校入学前教育カリキュラム改訂版（令和2年3月）](#)」も開いてみましょう。

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

期の初めに見られる幼児の姿

進級の喜びを感じて、
新しい生活に張り切って
取り組もうとしているな。



「4歳児のときは
できていたのに」
「何だか不安そう」
などと感じられる姿が
あるかも…。



こんなふうを受け止めましょう

クリックすると
詳細な説明
が見られます

主体性を発揮するための原動力

新しい出会いに期待感を

個人差があって当たり前！

援助はスモールステップで

まずは、意欲を認めること

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

嬉しい気持ち、張り切る気持ちは、**主体性を発揮**するための原動力です。



主体性を発揮するための原動力

新しい出会いに期待感を

個人差があって当たり前！

援助はスモールステップで

まずは、意欲を認めること

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

新しい物や出来事との出会いに**期待感**をもち、遊びや生活に意欲的に取り組む中で、幼児が**充実感**や**自信**を感じられるように支えていきましょう。



主体性を発揮するための原動力

新しい出会いに**期待感**を

個人差があって当たり前!

援助は**スモールステップ**で

まずは、**意欲を認める**こと

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

焦る必要はありません。環境の変化等に適応する過程であり、経験や特性には**個人差**があります。



主体性を**発揮**するための原動力

新しい出会いに**期待感**を

個人差があって当たり前

援助は**スモールステップ**で

まずは、**意欲を認める**こと

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

「5歳児はこうあるべき」などといった思いに捉われすぎず、目の前の幼児の姿や思いを受け止めながら、**スモールステップ**で援助を考えていきましょう。



主体性を発揮するための原動力

新しい出会いに**期待感**を

個人差があって当たり前！

援助は**スモールステップ**で

まずは、**意欲を認めること**

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

意欲的に行動しようとする反面、気持ちが空回りする姿もあります。幼児の**意欲を認め**ながら、適切な方法で力を発揮できるように支えていきましょう。



主体性を**発揮**するための原動力

新しい出会いに**期待感**を

個人差があって当たり前！

援助は**スモールステップ**で

まずは、**意欲を認める**こと

前期

進級当初～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

期の初めに見られる幼児の姿

進級の喜びを感じて、
新しい生活に張り切って
取り組もうとしているな。



「4歳児のときは
できていたのに」
「何だか不安そう」
などと感じられる姿が
あるかも…。



まとめ

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

嬉しい気持ち、張り切る気持ちは、**主体性を発揮**するための原動力です。

新しい物や出来事との出会いに**期待感**をもち、遊びや生活に意欲的に取り組む中で、幼児が**充実感**や**自信**を感じられるように支えていきましょう。

焦る必要はありません。環境の変化等に適応する過程であり、経験や特性には**個人差**があります。

「5歳児はこうあるべき」などといった思いに捉われすぎず、目の前の幼児の姿や思いを受け止めながら、**スモールステップ**で援助を考えていきましょう。

意欲的に行動しようとする反面、気持ちが空回りする姿もあります。幼児の**意欲を認め**ながら、適切な方法で力を発揮できるように支えていきましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
★この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

この期に大切なこと



5歳児として、新しい生活の仕方を自分たちで考えてほしいな。

「やりたい！」、
「試してみたい！」と、
様々な活動に主体的に
取り組んでほしいな。

友達と相談や
協力をしてほ
しいな。

○保育者に丁寧に支えられながら…

クリックすると
詳細な説明
が見られます

○結果ではなく、過程で幼児がどのような経験をするかが大切



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
★この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

この期に大切なこと



5歳児として、新しい生活の仕方を自分たちで考えてほしいな。

「やりたい！」、
「試してみたい！」と、
様々な活動に主体的に
取り組んでほしいな。

友達と相談や
協力をしてほ
しいな。

保育者に丁寧に支えられながら、幼児が自ら考え、友達と相談し、遊びや生活をつくりだす経験ができるようにしましょう。その経験が、いずれ自分たちで遊びや生活を進めていくための基盤となります。

大切なのは、話し合いや活動の結果ではなく、その**過程で幼児がどのような経験をするか**です。改めて、活動をとおして幼児に何を経験させたいか、何を感じてほしいか、これまでの経験や実態に合った内容や方法になっているかを意識し、活動や援助を考えましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

身に付けさせたい内容と指導のポイント

生活する力

発見・考
え・表現
する力

かかわる
力

身に付けさせたい内容

- 生活の流れや準備・片付けの手順などを意識して、一定の時間内に終えようとする。
- 着替えや持ち物の始末を自分でする。
- 遊んだあとの片付けを自分から気付いて行う。
- 進んで戸外に出て多様な動きを楽しむ。
- 遊具や用具の使い方が分かり、安全に気を付けて遊ぶ。
- 食べることの楽しさが分かり、食べ物に関心をもつ。

【関連事例へのリンクはこちら】

- | | |
|--------|-------|
| ・当番活動 | 4月 |
| ・片付け | 4月 |
| ・果実の調理 | 4月～7月 |

指導のポイント



使える場や物が増えたことに気付かせ、遊びや生活に取り入れられるようにしましょう。

張り切る気持ちを大切に、**意欲を高め**自己有用感をもてるようにしましょう。



必要な**約束**や生活の**ルール**に気付けるようにしましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

身に付けさせたい内容と指導のポイント

発見・考え・表現する力

生活する
力

かかわる
力

身に付けさせたい内容

- 思ったことや経験したことをいろいろな方法で表現する。
- 身近な自然に触れて遊び、日本の自然の美しさや不思議さを感じる。
- 自然物や自然の事象を遊びや生活の中に取り入れ、考えたり工夫したりして遊ぶ。
- 園の仕事（誕生会の係など）を受けもち、大勢の前で発表する。
- 絵本や物語を通して、イメージを膨らませて遊ぶ。
- 遊びや生活に使う簡単な標識や文字、数量（大小、高低、長短、軽重等）に興味をもったり、生活や遊びに取り入れたりする。

【関連事例へのリンクはこちら】

- | | |
|----------|-------|
| ・アオムシの飼育 | 4月～7月 |
| ・誕生会の出し物 | 5月～7月 |
| ・栽培物の収穫 | 4月～7月 |

指導のポイント

保育者と一緒に様々な**試し**
や**工夫**ができる面白さを感じられるようにしましょう。



解決を急がずやり取りや考える様子を見守りましょう。

興味や関心をもった事象を取り上げ、**遊びを広げる**
きっかけをつくりましょう。



前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

身に付けさせたい内容と指導のポイント

かかわる力

生活する
力

発見・考
え・表現
する力

身に付けさせたい内容

- 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 自分の気持ちとは異なる友達の気持ちに気付いたり、受け止めたりする。
- 友達と生活する中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [こいのぼり製作](#) 4月
- ・ [お花屋さん](#) 4月～5月
- ・ [ゲーム（ジャンケン）](#) 5月

指導のポイント



話し合いや遊びが**進めやす
い人数**にしましょう。

理解しやすく共通になるよう
に**視覚化**しましょう。



新しく始めたことや自分な
りに試して発見したことを
全体へ周知する機会をつく
りましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 誕生会の司会 5歳児としての自覚が高まる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 進級を喜ぶ気持ちから張り切って活動に取り組んでほしい。
- 「できた!」、「楽しかった!」という満足感を感じてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～幼児の「やりたい!」を引き出し、
活動につなげるために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



カレンダーに絵や文字など
で予定を記す

幼児の発言を丁寧に取り上
げ、受け止める

幼児一人の気付きをクラス
全体に返す

幼児に問い掛けながら、一
緒に思い出す

指導の
ポイント
②展開

～安心感をもって取り組めるように
するために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



気の合う友達と取り組める
ようにする

丁寧に段階を踏み、取組の
機会を十分に設ける

分かりやすく、無理のない
活動にする

指導の
ポイント
③まとめ

～充実感や、次に向けての期待感が
もてるようにするために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



クラスみんなで喜べるよ
うにする

よかったところをたくさん
認める

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 誕生会の司会 5歳児としての自覚が高まる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 進級を喜ぶ気持ちから張り切って活動に取り組んでほしい。
- 「できた!」、「楽しかった!」という満足感を感じてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～幼児の「やりたい!」を引き出し、活動につなげるために～

↓
1つ進む

カレンダーに絵や文字などで予定を記し、誕生会があることに気付けるようにしましょう。



月間カレンダーの例。行事などの予定が書かれていて、今日が何日なのかが分かる表示（マグネットなど）があると、徐々に幼児なりに見通しをもって生活できるようになる。



「前の年長さんはこんなふうをしていた。」、「こんな言葉がある。」などの幼児の発言を丁寧に取り上げ、受け止めることが意欲につながります。

「誕生会があるね。」、「教えてもらった司会をしたいね。」など、気付いた幼児の言葉を丁寧に拾い、クラス全体に返していきましょう。



司会をするにあたっての流れや言葉などを、幼児に問い掛けながら一緒に思い出していくようにしましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 誕生会の司会 5歳児としての自覚が高まる活動

小学校
 入学前教育
 カリキュラム
 P25参照



【保育者の願い】

- 進級を喜ぶ気持ちから張り切って活動に取り組んでほしい。
- 「できた!」、「楽しかった!」という満足感を感じてほしい。

指導の
 ポイント
 ②展開

～安心感をもって取り組めるようにするために～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む



3、4人の気の合う友達同士で
 取り組めるようにしましょう。

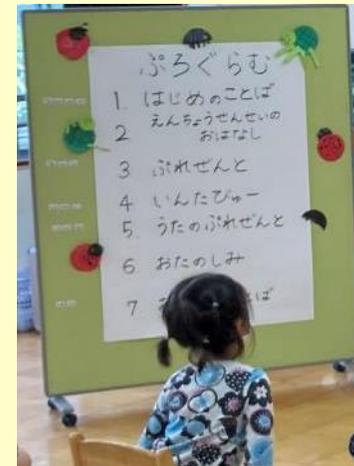


気の合う友達と一緒にすることで、安心して司会に取り組む様子。

司会の言葉や流れを分かりやすくし、
 この時期の幼児にとって無理のない
 活動にしましょう。



めくりプログラムの一例。1枚の紙に
 友達と絵を描くことで連帯感が生まれ
 るとともに、めくられたときに「自分
 たちの番だ!」と意識しやすい。



はじめからおわりまでが1枚に書かれ
 たプログラムの例。全体の流れが分か
 りやすい。

- ① 保育者と一緒に言葉を考える。
 - ② 保育者の前で友達と声を合わせて言う。
 - ③ 保育室内でクラスの前で言う。
 - ④ 実際の場や流れで言う。
- など、丁寧に段階を踏み、取組の機会を十分に設けましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 誕生会の司会 5歳児としての自覚が高まる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 進級を喜ぶ気持ちから張り切って活動に取り組んでほしい。
- 「できた!」、「楽しかった!」という満足感を感じてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～充実感や、次に向けての期待感がもてるようにするために～

↑
1つ戻る



5歳児としての自覚をもち、緊張しながらも頑張って司会をする様子。

クラスみんなで、できたことを喜べるようにすることで、**クラスとしてのつながり**も生まれます。

誕生会后、幼児のよかったところを**たくさん認め**ましょう。



「ちょっとドキドキした。」
「楽しかった!」
誕生会后に、感想を言い合ったり、保育者が幼児の姿を認めたりしている様子。



前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 当番活動

自分たちで生活を進めていく活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 5歳児ならではの当番活動に、取り組む喜びを十分に感じてほしい。
- 自分たちの生活に必要な活動に気付いてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～「やらなくちゃ」ではなく
「やりたい」活動にするために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



前年度の当番表を活用する

引き継いだ手順にこだわらない

関心をもった幼児から取り
組めるようにする

指導の
ポイント
②展開

～必要感をもって取り組めるように
するために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



焦らず幼児の気付きを引き
出す

大切な仕事であることに気
付けるようにする

指導の
ポイント
③まとめ

～「引き継いだ活動」から「自分た
ちの活動」としていくために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



幼児と一緒に当番の内容を
考える

実態に合わせてやり方を変
える

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 当番活動

自分たちで生活を進めていく活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 5歳児ならではの当番活動に、取り組む喜びを十分に感じてほしい。
- 自分たちの生活に必要な活動に気付いてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～「やらなくちゃ」ではなく「やりたい」活動にするために～

↓
1つ進む



当番表の一例。外側の円にグループ名があり、当番活動の内容が書かれた内側の円を日や週で回転させる。



前年度の当番表などを活用しながら、どのような当番があったのかを確認してみましょう。



当番表の一例。幼児の名前が書かれたカードを束ね、めくれるようにしている。



遊びの時間に、関心のある幼児が集まって飼育物のケージを洗う様子。



関心をもった幼児から取り組むのもよいでしょう。取組の様子をクラス全体にも知らせて、当番活動に対する関心を高めていきましょう。

幼児が無理なく取り組めることが大切です。引き続きだ手順にこだわらず、保育者が手伝ったり、楽しさに共感したりしましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 当番活動

自分たちで生活を進めていく活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 5歳児ならではの当番活動に、取り組む喜びを十分に感じてほしい。
- 自分たちの生活に必要な活動に気付いてほしい。

指導の
ポイント
②展開

～必要感をもって取り組めるようにするために～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む



保育者も一緒に取り組みながら、必要なことに
幼児が気付くような言葉を掛けている様子。

「ここはどうする？」
「次はどんなことをしたらいいかな？」
などと問い掛けながら、**焦らず幼児の気
付きを引き出す**ようにしましょう。
当番の取組の中で何をしたらよいか、
幼児なりに必要なことを感じながら取り
組めるようにしていきましょう。

生き物の世話や欠席連絡などでは、
「きれいになってカメさん喜んでいるね。」
「お知らせしてくれて助かるよ。」
などと声を掛けながら、毎日の生活に**欠かせ
ない大切な仕事**であることに気付けるように
しましょう。



「きれいにするから待っててね。」
などと保育者が声を掛ける姿を見て、
幼児がまねをする様子。



クラスの出欠状況を職員室に報告する活動の
様子。入室時の約束や話し方など、場所や相
手に応じた振る舞いを学ぶ機会にもなる。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 当番活動

自分たちで生活を進めていく活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- 5歳児ならではの当番活動に、取り組む喜びを十分に感じてほしい。
- 自分たちの生活に必要な活動に気付いてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～「引き継いだ活動」から「自分たちの活動」としていくために～

↑
1つ戻る



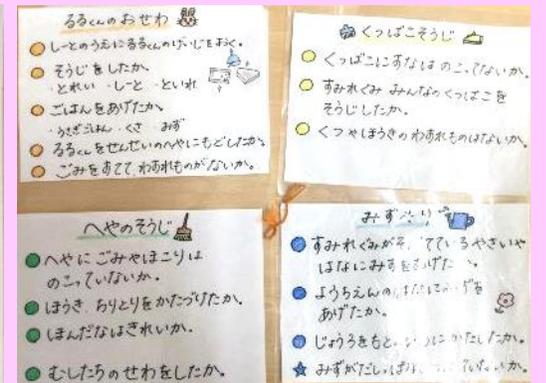
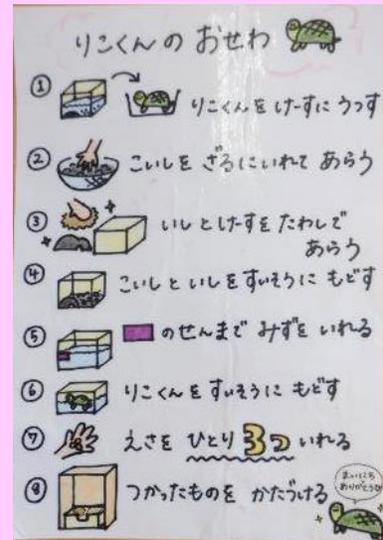
外階段が毎日砂だらけになることに気が付き、掃き掃除を自分たちで当番活動の一つにした例。



掃除の大変さに気付いたことで、普段から靴に付いた砂を落として階段を上ようになった様子。

「砂場の遊具が出しっぱなしだった。」
 「手紙を自分たちで配りたい。」
 などと、**幼児が気付いた新しい仕事**も出てくることでしょう。幼児と一緒に当番の内容を考えて進めていきましょう。

幼児の実態に合わせて**やり方を変えて**いきましょう。自分たちで進めやすいように工夫したり、考えた手順を掲示したりしながら少しずつ進められるようにしましょう。



活動の手順表の例。活動の手順が分かりやすく書かれたものがあると、幼児が自分たちで確認しながら進めることができる。

前期

進級当初～



に戻る

期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ クラスでの遊び クラスの友達とのつながりを感じる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- みんなでする活動を楽しみながら、クラスの友達との関わりを深めてほしい。
- 同じクラスの友達に、「仲間」というつながりを感じてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～クラスの友達に親しみをもち、関心を深めるために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



幼児同士が関わるきっかけをつくる

友達に関心をもてるような話題を投げ掛ける

指導の
ポイント
②展開

～友達がいるから楽しいという気持ちを味わえるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



簡単なルールで繰り返し楽しめる遊びをする

チーム決めや、勝敗のあるゲームを取り入れる

友達と気持ちを合わせる活動を取り入れる

指導の
ポイント
③まとめ

～友達とのつながりを感じ、心地よいものにしていくために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



一日の振り返りの時間に楽しさを共有する

幼児同士の関わりを、保育者が具体的に認める

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ クラスでの遊び クラスの友達とのつながりを感じる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- みんなでする活動を楽しみながら、クラスの友達との関わりを深めてほしい。
- 同じクラスの友達に、「仲間」というつながりを感じてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～クラスの友達に親しみをもち、関心を深めるために～

↓
1つ進む

まずは4歳のときに楽しんでいた遊びを取り入れましょう。
わらべうたなどのふれあい遊びや、ラウンドチェーン、ドンジャンケンなど、みんなでする遊びをとおして、**幼児同士が関わるきっかけ**をつくりましょう。



いろいろな友達と2人組になって行うふれあい遊び。



ドンジャンケンなどの遊びは、友達を応援する声が出てきやすい。



テンポよく、次々と違う友達と出会えるのが楽しいラウンドチェーン。



クラスで集まった際に、保育者が意図的に「○○さんは今日こんなことして遊んでいたね。」「◇◇さんが昨日～だったんだって。」などと、**友達に関心**がもてるような話題を投げ掛けてみましょう。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ クラスでの遊び クラスの友達とのつながりを感じる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- みんなでする活動を楽しみながら、クラスの友達との関わりを深めてほしい。
- 同じクラスの友達に、「仲間」というつながりを感じてほしい。

指導の
ポイント
②展開

～友達がいるから楽しいという気持ちを味わえるように～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む

簡単なルールで繰り返し楽しめる鬼遊びなどをとおして、みんなで遊ぶ楽しさを十分に味わいましょう。



雨の日に室内で鬼遊びをする様子。



グループジャンケン。
グー・チョキ・パーの
どれを出すか相談中。

グループのみんなが
同じ手（写真は足
ジャンケン）でそろ
うかな？



友達とのつながりを少しずつ感じられるように、遊びの中で簡単な**チーム決め**をしたり、**勝敗のあるゲーム**を取り入れたりしてみましょう。

助け鬼やドンジャンケンなど、友達の力を実感するような遊びも効果的です。また、歌や簡単な合奏など、**友達と気持ちを合わせる心地よさ**が味わえる活動も取り入れていきましょう。



クラスみんなで楽器遊び。ときには体を動かしながら鳴らすのも楽しい。

前期

進級当初～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ クラスでの遊び クラスの友達とのつながりを感じる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P25参照



【保育者の願い】

- みんなでする活動を楽しみながら、クラスの友達との関わりを深めてほしい。
- 同じクラスの友達に、「仲間」というつながりを感じてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～友達とのつながりを感じ、心地よいものにしていくために～

↑
1つ戻る

一日の振り返りの時間に、幼児から「友達と関わって楽しかったことや嬉しかったこと」を聞き取り、クラスのみんなで生活する楽しさを共有できるようにしましょう。



降園前の集合時に、その日に楽しかったことなどを発表している様子。



活動の中で見られた幼児同士の関わりを、保育者が具体的に言葉にして認めるようにしましょう。
幼児が「友達がいてよかった。」、「〇〇さんが助けてくれた。」などという実感がもてるようにしていきましょう。





期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
★家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

家庭との連携

小学校
入学前教育
カリキュラム
P60, 61参照

5歳児に進級した喜びや期待は、保護者も同じように感じていること
でしょう。

一方で、「就学まであと1年」と、わが子の様子に不安になることが
あるかも知れません。1年間の見通しを伝えるとともに、焦らず見守る
ことや親子で一緒に体験してほしいこと、様々な経験を積み重ねられる
ように支えていくことなど、具体的に伝えていきましょう。

【家庭と共有するべきポイント】



生活する力

- 意欲を認め、自信をもって
行動できるような関わり
- バランスの良い食事

発見・考え・表現する力

- 先回りして教えるのではなく、
体験することの大切さ
- 共感、面白い姿勢

かかわる力

- 様々な感情体験の受容
- 善悪の判断基準



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

期の初めに見られる幼児の姿

幼児同士で遊びを進める
姿が増えてきたな。



クラスのみんなでする
活動だけれど、幼児の
考えがなかなかまとま
らないな…。



こんなふうを受け止めましょう

クリックすると
詳細な説明
が見られます

思いを言葉で伝え、友達のよさに気付くように

イメージなどを共有して遊べるように

葛藤やつまずきも大切に

相談は具体的に少しずつ

クラスの一員という気持ちを大切に



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

幼児同士のやり取りが活発になり、自分の思いを言葉で相手に伝えたり、友達のよさに気付いたりするようになっていきます。



思いを言葉で伝え、友達のよさに気付くように

イメージなどを共有して遊べるように

葛藤やつまずきも大切に

相談は具体的に少しずつ

クラスの一員という気持ちを大切に



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

遊びのイメージや目的、ルールを共有しながら友達と一緒に遊ぶ楽しさが繰り返す味わえるように援助していきましょう。



思いを言葉で伝え、友達のよさに気付くように

イメージなどを共有して遊べるように

葛藤やつまずきも大切に

相談は具体的に少しずつ

クラスの一員という気持ちを大切に



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

葛藤やつまずきも幼児期に大切な経験です。幼児が友達と互いの思いや考えを出し合う経験をとおして相手を理解したり、友達との関わりを深めたりしていく過程を支えていきましょう。



思いを言葉で伝え、友達のよさに気付くように

イメージなどを共有して遊べるように

葛藤やつまずきも大切に

相談は具体的に少しずつ

クラスの一員という気持ちを大切に



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

初めから活動の方向性が定まったりクラスがまとまったりするわけではありません。活動のイメージを幼児と一緒に少しずつ具体的にしていきましょう。



思いを言葉で伝え、友達のよさに気付くように

イメージなどを共有して遊べるように

葛藤やつまずきも大切に

相談は具体的に少しずつ

クラスの一員という気持ちを大切に



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうを受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

活動に対する個々の幼児の思いを受け止め、活動への意欲や**クラスの一員**という気持ちを大切にしていきましょう。



思いを**言葉**で伝え、**友達**のよさに気付くように

イメージなどを**共有**して遊べるように

葛藤や**つまずき**も大切に

相談は**具体的に**少しずつ

クラスの一員という気持ちを大切に



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント (計3ページ)
 具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

期の初めに見られる幼児の姿

幼児同士で遊びを進める
姿が増えてきたな。



クラスのみんなでする
活動だけれど、幼児の
考えがなかなかまとま
らないな…。



まとめ

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

幼児同士のやり取りが活発になり、自分の思いを言葉で相手に伝えたり、友達のよさに気付いたりするようになっていきます。

遊びのイメージや目的、ルールを共有しながら友達と一緒に遊ぶ楽しさが繰り返し味わえるように援助していきましょう。

葛藤やつまずきも幼児期に大切な経験です。幼児が友達と互いの思いや考えを出し合う経験をとおして相手を理解したり、友達との関わりを深めたりしていく過程を支えていきましょう。

初めから活動の方向性が定まったりクラスがまとまったりするわけではありません。活動のイメージを幼児と一緒に少しずつ具体的にしていきましょう。

活動に対する個々の幼児の思いを受け止め、活動への意欲やクラスの一員という気持ちを大切にしていきましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
★この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

この期に大切なこと



目的に向けて、みんな
で活動を進めていく面
白さや難しさ、充実感
を味わってほしいな…。

友達のよいところ
や得意なことに気
付いてほしいな…。

挑戦して遊ぶ面白さを
味わい、友達と一緒に
繰り返し取り組むこと
を楽しんでほしいな…。

協同的な遊びが充実する時期です。

○クラスの雰囲気や関係性は…

○友達のよさや頑張りに気付けるように…

クリックすると
詳細な説明
が見られます



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
★この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

この期に大切なこと



目的に向けて、みんな
で活動を進めていく面
白さや難しさ、充実感
を味わってほしいな…。

友達のよいところ
や得意なことに気
付いてほしいな…。

挑戦して遊ぶ面白さを
味わい、友達と一緒に
繰り返し取り組むこと
を楽しんでほしいな…。

行事への取組も含め、**協動的な遊び**が充実する時期です。自分の思ったことや考えたことを安心して発言できるクラスの雰囲気や関係性の構築を、クラス経営の中で大切にしましょう。一人ひとりが自己発揮できるように支え、その自己を発揮している姿から、**友達のよさ**や**頑張りに互いに気付**けるようにしていきましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

身に付けさせたい内容と指導のポイント

生活する力

発見・考
え・表現
する力

かかわる
力

身に付けさせたい内容

- 一日の流れに大まかな見通しをもち、時間を意識しながら友達と声を掛け合って生活をする。
- 自分の所持品の整理や脱いだ服の始末を丁寧に行う。
- 必要性を感じて、園やクラスの共同・共有の物を片付ける。
- ルールのある遊び、集団での遊び、いろいろな運動遊び（マット、鉄棒等）を楽しむ。
- 危険な場所が分かり、安全に気を付けて行動する。
- 様々な食べ物への興味や関心をもって、進んで食べようとする。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [ドッジボール](#) 10月～11月
- ・ [集合時刻を意識する](#) 9月～10月
- ・ [食べ物のはたらき](#) 8月～10月

指導のポイント



幼児が活動や時間に見通しをもちやすいように、**説明や提示の仕方を明確**にしましょう。

個人・クラス・園で使用する物の扱い方や始末の仕方を伝え、**目的や遊び方に合った**使用や収納ができるようにしましょう。



クラスの興味に応じて遊びを提示し、**様々な種類の遊びを楽しむ機会**がもてるようにしましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

身に付けさせたい内容と指導のポイント

発見・考え・表現する力

生活する
力

かかわる
力

身に付けさせたい内容

- 秋の自然物等、身近な環境に積極的に関わり、取り入れて遊ぶ。
- 物の仕組みに関心をもったり、試したり確かめたりして遊ぶ。
- 友達と遊びや生活の中でイメージや目的を共有し、思いや考えを言葉で伝えようとする。
- 感じたことや考えたことを言葉で表現しようとする。
- 先生や友達の話を注意して聞き、理解しようとする。
- 物語や話の続きに興味をもち、クラスの友達と楽しんで聞く。
- 絵本や物語の世界を楽しみ、感動を味わったり、イメージを豊かにしたりする。
- 遊びや生活の中で、文字を読んだり使ったりする。
- 順番や勝敗のある遊びを通して人数、物の数を数えたり、物の量を比較したりする。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [影絵遊び](#) 8月～10月
- ・ [ハンドベルの演奏](#) 9月～11月
- ・ [落ち葉集め](#) 10月～11月

指導のポイント

幼児の好奇心から始まった遊びを、**自分たちで進められるように**用具・素材を用意しましょう。

幼児一人ひとりの考えや工夫を、**表現できる機会や場**をつくるようにしましょう。

相手に分かりやすい**伝え方**や、話を聞く時の正しい**姿勢・態度**等を知らせましょう。





期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

身に付けさせたい内容と指導のポイント

かかわる力

生活する
力

発見・考
え・表現
する力

身に付けさせたい内容

- 友達と互いに考えを出し合ったり、尊重したり、折り合いをつけたりしながら遊びや活動に取り組む。
- グループの友達と役割分担をしたり、協力したりして話し合いながら活動を進める。
- 集団の中でのきまりやルールを守り、生活する。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [ルールの確認（鬼遊び）](#) 10月
- ・ [グループ製作](#) 10月～11月
- ・ [作戦会議（リレー）](#) 9月～10月

指導のポイント



互いの気持ちを伝え、認め合えるように仲介し、**折り合い**をつけようとする姿を見守りましょう。

力を合わせて**共通の活動**に取り組み、達成感や充実感を味わえるようにしましょう。



新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、**全体へ周知する機会**をつくりましょう。

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① ドッジボール 自分たちでルールを考えて遊ぶ集団遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 集団遊びの中で、ルールがあるからこそその楽しさを感じてほしい。
- 実際に遊ぶ中で感じたいろいろな思いや気付きを出し合い、自分たちで遊び方を工夫し、展開させていく楽しさを感じてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～クラスで共通の遊びとして楽しさ
を感じられるようにするために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



ルールを視覚的に分かりやすく説明する

繰り返し遊び出したくなる
環境を用意する

指導の
ポイント
②展開

～遊びをとおして様々な感情体験を
重ねていくために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



幼児が「これならできる」
と思える役割をつくる

個人の感情体験をクラス全
体で共有する

遊びや生活の中で仲間意識
をもてる工夫をする

指導の
ポイント
③まとめ

～自分たちで遊び方を工夫し、展開
していけるようにするために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



自分たちでルールを考えて
よいことを伝える

アイデアが生まれやすくなる
ような援助をする

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① ドッジボール 自分たちでルールを考えて遊ぶ集団遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 集団遊びの中で、ルールがあるからこそその楽しさを感じてほしい。
- 実際に遊ぶ中で感じたいろいろな思いや気付きを出し合い、自分たちで遊び方を工夫し、展開させていく楽しさを感じてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～クラスで共通の遊びとして楽しさを感じられるようにするために～

↓
1つ進む

みんながルールを理解できるように、
保育者が実際に動いて見せたり、ホ
ワイトボードやマグネット等を用い
ながら説明したりしましょう。



幼児に見立てたマグネットを動かしながら説明
するのも、理解しやすくする工夫の一つ。



コートが描かれていることで、
自分たちで遊び始めた様子。



鬼遊びでも陣地が描かれていると、
自分たちで遊び出すことができる。



繰り返し遊ぶことで、ルールに慣れ、遊びの楽しさが分かります。
コートの子線を残しておくなど、**思わず遊び出したくなる環境**を
用意しましょう。
自分たちで必要な用具の出し入れができるように場を整理してお
くことも大切です。

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① ドッジボール 自分たちでルールを考えて遊ぶ集団遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 集団遊びの中で、ルールがあるからこそその楽しさを感じてほしい。
- 実際に遊ぶ中で感じたいろいろな思いや気付きを出し合い、自分たちで遊び方を工夫し、展開させていく楽しさを感じてほしい。

指導の
ポイント
②展開

～遊びをとおして様々な感情体験を重ねていくために～



自信のなさ等から遊びに入れなかったり、思い通りにならず止めてしまったりする幼児もいます。
まずは思いを受け止め、「これならでき
る」と思えるような役割をつくったり、悔しくても次頑張ろうとする姿を認めたりすることで、徐々に気持ちを切り替えられるようにしましょう。



審判役で参加するうちに、「ゲームにも参加してみたい。」と気持ちが変わる場合もある。

遊びを通して感じたことはクラスで共有しましょう。友達や自分のよさに気付いたり、ルールを確認したりする機会になります。

↑
1つ戻る

↓
1つ進む



仲間意識をもって遊ぶ楽しさを感じられるようにしましょう。
チームで弁当を食べるなど、遊び以外の場面でも関係を深めていくことができます。



チームの仲間と一緒に弁当を食べる様子。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① ドッジボール 自分たちでルールを考えて遊ぶ集団遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 集団遊びの中で、ルールがあるからこそその楽しさを感じてほしい。
- 実際に遊ぶ中で感じたいろいろな思いや気付きを出し合い、自分たちで遊び方を工夫し、展開させていく楽しさを感じてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～自分たちで遊び方を工夫し、展開していけるようにするために～

↑
1つ戻る



勝つための作戦を仲間と一緒に考えている様子。

全員にルールが定着し、自分なりに遊びを楽しくしようとするいろいろな動きを出す姿や、友達と勝つための作戦を考える姿が見られたら、遊びを次に進めるチャンスです。より楽しく遊べるように自分たちでルールを考えてよいことを伝えましょう。

保育者も遊び仲間として案を出したり、幼児の発想の面白さを認め、それが実現されるよう手伝ったりしましょう。
 普段と違う場所で遊ぶなど環境を変えることで、アイデアが生まれやすくなることもあります。



広い体育館で行うと、なかなか相手に当てられなくなる。遊び方や作戦などに工夫が生まれることも。



リレーは、走るコースを変えると面白さや幼児が経験する動きが変わる。
 （左右に曲がる、起伏を上り下りするなど）

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 日々の生活

友達と**目的を共有**して取り組む遊び・活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 友達と考えを出し合い協力しながら、したい遊びを実現する面白さや充実感を味わってほしい。
- うまくいかないことや困ったことが起きたときに、自分たちで試行錯誤したり話し合ったりして乗り越えようとしてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～共通の目的をもち、自分たちで遊びを進めていけるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



共通体験を遊びにつなげる

幼児が自分たちで選べる環境を整える

指導の
ポイント
②展開

～友達と相談、協力、試行錯誤しながら目的を実現できるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



自分たちで遊びを展開していく面白さに共感する

試行錯誤する面白さに気付けるようにする

過程を大切にし、最後は幼児が決められるようにする

指導の
ポイント
③まとめ

～友達と一緒に目的を達成した充実感や嬉しさを味わえるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



機会を逃さず一緒に喜んだり、言葉で認めたりする

自信や満足感を次の展開につなげる

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 日々の生活

友達と**目的を共有して**取り組む遊び・活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 友達と考えを出し合い協力しながら、したい遊びを実現する面白さや充実感を味わってほしい。
- うまくいかないことや困ったことが起きたときに、自分たちで試行錯誤したり話し合ったりして乗り越えようとしてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～共通の目的をもち、自分たちで遊びを進めていけるように～

↓
1つ進む



幼児が遊びに取り入れたり、再現したりしたくなるような絵本を読み聞かせている様子。

絵本や童話、観劇、遠足、自然物や身近な事象との出会いや発見などの**先行体験を踏まえ**、共有したイメージやストーリー、体験などが遊びにつながるようにしていきましょう。



絵本からイメージを膨らませて、友達と「海賊ごっこ」を楽しむ様子。



材料や用具が分類・整理された棚。車輪付きだと、遊びの状況に合わせて移動させることもできる。

遊びに必要な材料や用具を幼児が自分たちで**探したり、選んだり、持ってきたりできる環境を整え**ましょう。

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 日々の生活

友達と目的を共有して取り組む遊び・活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 友達と考えを出し合い協力しながら、したい遊びを実現する面白さや充実感を味わってほしい。
- うまくいかないことや困ったことが起きたときに、自分たちで試行錯誤したり話し合ったりして乗り越えようとしてほしい。

指導の
ポイント
②展開

～友達と相談、協力、試行錯誤しながら目的を実現できるように～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む

友達と共通の目的でつながり、考えが形になっていく嬉しさや、**自分たちで遊びを展開していく面白さ**に共感しましょう。



「人を乗せて動かすことができる乗り物を作ろう！」

必要に応じて保育者も仲間の一員となり、**試行錯誤**しながら遊びを進めていく面白さに気付けるような言葉を掛けましょう。
 「どうしたらうまくいくかな？いろいろ試してみよう！」、「こういうときは実験だ！」、「だめだ～！次はどうする？」、「いい考え！やってみよう！」、「さっきよりいいね！さっきと何が違う？」など



保育者も仲間になって、幼児の試行錯誤を支えている様子。



友達と考えが合わない場面では解決を急がず、自分とは違う考えに耳を傾けもう一度考える、相手を説得する、気持ちを調整し折り合いをつけるなどの**過程を大切**に見守りましょう。

話を整理したり、伝え合いの仲介をしたりするなどの援助が必要なことはありますが、**最後は幼児自身がどうするか決めて前に進めるように**支えましょう。

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 日々の生活 友達と目的を共有して取り組む遊び・活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 友達と考えを出し合い協力しながら、したい遊びを実現する面白さや充実感を味わってほしい。
- うまくいかないことや困ったことが起きたときに、自分たちで試行錯誤したり話し合ったりして乗り越えようとしてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～友達と一緒に目的を達成した充実感や嬉しさを味わえるように～

↑
1つ戻る

「仲間と力を合わせてできた！」
「私たちの考えた遊びは面白い！」
「私たちってすごい！」
などと達成感や充実感を味わえるよう、
その瞬間や機会を捉え一緒に喜んだり、
言葉にして認めたりしましょう。



仲間と力を合わせて「技」が決まった瞬間！



「映った！」「すごいね！」
幼児の喜びに保育者も共感している様子。



自分たちで作った「遊園地」に他学年の幼児を招待して、楽しんでもらっている様子。

クラス全体に紹介したり、他学年との関わりにつなげたりすると、幼児が自信をもち満足感を感じ、次への展開につながっていきます。

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ 運動会

グループ活動・クラスでの課題活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 共通の目的に向かって、友達と互いの考えを出し合い、実現する楽しさを味わってほしい。（リズム表現、リレー、司会、係活動など）
- クラスやグループの課題に意欲的に取り組み、やり遂げる充実感を味わってほしい。

指導の
ポイント
①導入

～活動に向かう幼児の意欲を高めるために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



これまでの経験を演目につなげる

イメージや役割を具体的に
する

幼児がやってみたいことを
取り入れる

指導の
ポイント
②展開

～互いの意見を出し合い、自分たちの活動という自覚をもてるように

クリックすると
詳細な説明
が見られます



伝え合いを円滑にする言葉
を使う

話し合う内容を明確にする

指導の
ポイント
③まとめ

～友達と協力してやり遂げる充実感を味わえるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



活動の振り返りの際に幼児の姿を具体的に認める

当日までの過程を保護者に発信する



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
 ところを
 クリック!

具体的な活動例③ 運動会

グループ活動・クラスでの課題活動

小学校
 入学前教育
 カリキュラム
 P27参照



【保育者の願い】

- 共通の目的に向かって、友達と互いの考えを出し合い、実現する楽しさを味わってほしい。（リズム表現、リレー、司会、係活動など）
- クラスやグループの課題に意欲的に取り組み、やり遂げる充実感を味わってほしい。

指導の
 ポイント
 ①導入

～活動に向かう幼児の意欲を高めるために～

↓
 1つ進む



「アンカー」を決めず、メンバーも入れ替わりながら、遊びの中で自由に楽しむリレーごっこ。

遊びの中で経験してきた様々な動きやリズム表現、力いっぱい走ることの楽しさなどを運動会の演目につなげていきましょう。

写真等で前年度の経験を振り返ったり、楽しかったことを思い出したりしながら、活動全体のイメージや必要な役割を具体的にしていきましょう。



ICT機器を使って、写真や映像をみんなで共有している様子。



年間計画で決まっているから活動させるのではありません。

幼児がやってみたいことや憧れていること、話題のスポーツなどの要素を取り入れながら、進んで体を動かすことやみんなで活動することの楽しさを味わえるようにしましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ 運動会

グループ活動・クラスでの課題活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P27参照



【保育者の願い】

- 共通の目的に向かって、友達と互いの考えを出し合い、実現する楽しさを味わってほしい。（リズム表現、リレー、司会、係活動など）
- クラスやグループの課題に意欲的に取り組み、やり遂げる充実感を味わってほしい。

指導の
ポイント
②展開

～互いの意見を出し合い、自分たちの活動という自覚をもてるように～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む



「こういう動きはどう？」
みんなでまねをしてみると…「いいね！」

「いいね。」「なるほど。」と相手の話を受け止める言葉や、「～するのはどう？」と相手に提案する言葉など、**伝え合いを円滑にする言葉**を保育者が使ったり、幼児が使っている姿を認めたりしていきましょう。

幼児が自分たちで意見を出し合ったり、考えを巡らせたりすることが大切です。
 相談するのに適当な人数か、**話し合う内容が明確で共有されているか**などを確認し、状況に応じて言葉を補ったり、保育者も提案したりしながら、幼児が話し合いを進められるようにしましょう。



発言した幼児と保育者との1対1のやり取りから、少しずつ幼児同士のやり取りに移行していく時期。



グループの友達とアイデアを出し合って、ダンスの振り付けを決めている様子。

中期

秋の運動会頃



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
 ところを
 クリック!

具体的な活動例③ 運動会

グループ活動・クラスでの課題活動

小学校
 入学前教育
 カリキュラム
 P27参照



【保育者の願い】

- 共通の目的に向かって、友達と互いの考えを出し合い、実現する楽しさを味わってほしい。（リズム表現、リレー、司会、係活動など）
- クラスやグループの課題に意欲的に取り組み、やり遂げる充実感を味わってほしい。

指導の
 ポイント
 ③まとめ

～友達と協力してやり遂げる充実感を味わえるように～

↑
 1つ戻る

運動会に向かう日々の中で見られる幼児の
 「みんなで力を合わせよう。」
 「友達と一緒にだからできる。」
 「自分の役割を頑張りたい。」
 という姿を、**活動の振り返り**の際に具体的に
 言葉にして認めていきましょう。



互いに頑張っていることなどを確認し、
 認め合ううちに、友達関係がより深まっていく。



取組の過程を写真付きで分かりやすく伝えるクラスだよりの一例。



運動会までの取組を保護者に発信し、**当日の姿や結果だけでなく、その過程を含めて**捉えてもらえるようにしましょう。

「がんばったね。」
 「すごいね。」

と保護者や他学年などに認めてもらうことは
 充実感や自信につながります。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 具体的な活動例①・②・③
 ★家庭との連携

みたい
 ところを
 クリック!

小学校
 入学前教育
 カリキュラム
 P62, 63参照

家庭との連携

行事の参観等を通して、我が子が友達と共通の目的に向かって取り組み、やり遂げていく姿に、保護者は成長を実感することでしょう。

一方で、友達とのトラブルや葛藤体験をマイナスに捉え、不安を抱くこともあるかもしれません。こうしたつまずきが、幼児の心の成長に大切な機会であることを丁寧に伝えていきましょう。また、就学への保護者の関心も高まります。家庭で取り組める内容を具体的に提示していきましょう。



【家庭と共有するべきポイント】

生活する力

- 時間の感覚がつかめるような関わり
- 多様な体の動きや、初めてのことへの挑戦を楽しむ機会

発見・考え・表現する力

- 心を通わせる機会の確保
- 幼児の表現を待つ姿勢
- 遊びの中で数を数える等の豊かな実体験

かかわる力

- 気持ちに寄り添った関わり
- 自信をもって行動する支えとなるような関わり



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

期の初めに見られる幼児の姿

友達と一緒に生活や遊び
をする中で、様々なこと
に自信をもって過ごして
いるな。



就学への期待感をもって
いるけど、時々心配そう
な姿も見られるな…。



こんなふうに受け止めましょう

クリックすると
詳細な説明
が見られます

期待と自信をもって小学校へ

粘り強く取り組む意欲を支える

就学へのイメージをもてるように

状況に応じた言葉遣いを意識できる機会を

自己肯定感を高められるように

後期

就学時健診～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

今まで育まれた資質・能力がさらに伸長し、主体的に自己を発揮しながら、小学生になることに**期待と自信**をもつようになってきます。



期待と自信をもって小学校へ

粘り強く取り組む意欲を支える

就学へのイメージをもてるように

状況に応じた言葉遣いを意識できる機会を

自己肯定感を高められるように

後期

就学時健診～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

自分の目的や少し難しい課題に向かって粘り強く取り組んでいるときは、葛藤や悔しさに共感し、意欲を支えていきましょう。



期待と自信をもって小学校へ

粘り強く取り組む意欲を支える

就学へのイメージをもてるように

状況に応じた言葉遣いを意識できる機会を

自己肯定感を高められるように

後期

就学時健診～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

小学生と交流をもつ、近隣の小学校まで歩いてみるなどの活動をとおして、**就学へのイメージ**をもてるようにしましょう。



期待と自信をもって小学校へ

粘り強く取り組む意欲を支える

就学へのイメージをもてるように

状況に応じた言葉遣いを意識できる機会を

自己肯定感を高められるように

後期

就学時健診～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

自分で考えたことを自分の言葉で話す機会をつくり、その中で**状況に応じた言葉遣い**を意識できるようにしましょう。



期待と自信をもって小学校へ

粘り強く取り組む意欲を支える

就学へのイメージをもてるように

状況に応じた言葉遣いを意識できる機会を

自己肯定感を高められるように

後期

就学時健診～



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

↓
まとめ

クリックすると
詳細な説明
が見られます

自分たちで生活を進める中で、充実感や達成感を味わい、**自己肯定感**をより高められるようにしましょう。



期待と自信をもって小学校へ

粘り強く取り組む意欲を支える

就学へのイメージをもてるように

状況に応じた言葉遣いを意識できる機会を

自己肯定感を高められるように



★期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

期の初めに見られる幼児の姿

友達と一緒に生活や遊び
をする中で、様々なこと
に自信をもって過ごして
いるな。



就学への期待感をもって
いるけど、時々心配そう
な姿も見られるな…。



まとめ こんなふうに受け止めましょう

↑
はじめ

今まで育まれた資質・能力がさらに伸長し、主体的に自己を発揮しながら、小学生になることに**期待と自信**をもつようになってきます。

自分の目的や少し難しい課題に向かって**粘り強く取り組んでいる**ときは、葛藤や悔しさに共感し、意欲を支えていきましょう。

小学生と交流をもつ、近隣の小学校まで歩いてみるなどの活動をとおして、**就学へのイメージ**をもてるようにしましょう。

自分で考えたことを自分の言葉で話す機会をつくり、その中で**状況に応じた言葉遣い**を意識できるようにしましょう。

自分たちで生活を進める中で、充実感や達成感を味わい、**自己肯定感**をより高められるようにしましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
★この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

この期に大切なこと



状況に応じて自分で
考え判断し、行動で
できるようになってほ
しいな…。

友達と互いのよさを生
かし合い共通の目的に
向かって取り組み、や
り遂げた達成感を味
わってほしいな…。

集団の中で自信
をもって活動に
取り組み、就学
への期待をもっ
てほしいな…。

○友達と共通の目的に向かって…

○就学への喜びや期待をもてるように…

クリックすると
詳細な説明
が見られます



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
★この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

この期に大切なこと



状況に応じて自分で
考え判断し、行動で
できるようになってほ
しいな…。

友達と互いのよさを生
かし合い共通の目的に
向かって取り組み、や
り遂げた達成感を味
わってほしいな…。

集団の中で自信
をもって活動に
取り組み、就学
への期待をもっ
てほしいな…。

幼児が互いに認め合い、それぞれのよさを生かし合いながら活動を進められるよう、**友達と共通の目的に向かって協力して取り組む活動**を取り入れましょう。

また、自分の成長を実感し、満足感や達成感を味わったり、**就学への喜びや期待**をもったりできるような活動を取り入れましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

身に付けさせたい内容と指導のポイント

生活する力

発見・考
え・表現
する力

かかわる
力

身に付けさせたい内容

- 活動の区切りや時間を意識しながら生活する。
- 自分の所持品の準備や管理などに責任をもって生活する。
- 少し難しいことにも繰り返し挑戦し、できるようになった自信をもつ。
- 危険な遊び方や場所に気付き、自分で判断して安全に行動しようとする。
- 食事に関するきまりやマナーを守りながら、楽しく食べる。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [当番活動](#) 11月～2月
- ・ [マラソン遊び](#) 12月～2月
- ・ [こま回し](#) 12月～2月

指導のポイント



幼児が自ら挑戦したくなる遊具を用意したり、**保育者自身も挑戦する**姿を見せたりして意欲を引き出しましょう。

葛藤や悔しさに共感し、個々の課題への**挑戦意欲**につながるようにしましょう。



自分たちで生活を進める中で、充実感や**自己肯定感**をもてるようにしましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック！

身に付けさせたい内容と指導のポイント

発見・考え・表現する力

生活する
力

かかわる
力

身に付けさせたい内容

- 冬の自然現象に関心をもって関わり、疑問をもったり発見したりする。
- 一つのことを繰り返し試したり確かめたりして、じっくりと取り組む。
- 自分が考えたことを自分の言葉で話す。
- 友達の話をよく聞き、相手に分かるように話す。
- その場の雰囲気や状況に合わせた言葉の使い方や表現の仕方（声の大きさ等）が分かり、相手に分かるように筋道を立てて話す。
- 遊びや生活の中で、数の必要性や便利さに気付き、比べたり、分けたり、数えたり、読んだり、書いたりする。
- 文字を使うことの楽しさや意味に気付き、生活の中で文字を使って伝える喜びを味わう。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [文字への関心](#) 1月
- ・ [けがの場面](#) 11月～3月
- ・ [氷の実験](#) 1月～2月

指導のポイント



試行錯誤したり、最後まで粘り強く取り組んだりできる時間や遊具・用具を確保しましょう。

自分たちで活動を進める中で、実現や解決のために必要なことに気付けるようにしましょう。



先回りせず幼児の話を引き出すような投げ掛けをしたり、幼児が状況に応じた言葉遣いを意識できるようにしたりしましょう。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
★身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

身に付けさせたい内容と指導のポイント

かかわる力

生活する
力

発見・考
え・表現
する力

身に付けさせたい内容

- 自分から進んであいさつをする。
- 友達と互いのよさを生かし合い、共通の目的に向かって取り組み、やり遂げた充実感を味わう。
- 学年や園全体への指示や課題を自分のこととして受け止め、自信をもって行動する。
- みんなで一緒に活動する中で、クラスの一員としての力を発揮する。
- 就学することを喜び、自分の成長に自信と自覚をもつとともに、お世話になった人への感謝の気持ちをもつ。
- よいことと悪いことの区別が分かり、自分で考えて行動する。

【関連事例へのリンクはこちら】

- ・ [友達のよいところ紹介](#) 1月～3月
- ・ [交通安全指導](#) 2月～3月
- ・ [劇づくり](#) 1月～2月

指導のポイント



友達のよさを感じ、**伝え合う喜び**が感じられるようにしましょう。

目的を達成するために**幼児同士**が**やり取り**する姿を認め、共感しましょう。



他学年や小学生などに関わる機会をつくって、**就学への意識**が高まるようにしましょう。

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 縄跳び・鉄棒 こま回しなど 目的をもって取り組む遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 難しいことに挑戦する面白さを味わい、最後まであきらめずに取り組んでほしい。
- 少しずつ上達する嬉しさや、「できるようになった」という達成感を感じ、自信をもつことで、次の活動への意欲につなげてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～少し難しいことでも「やってみたい」と思えるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



「自分もやってみたい！」
と思える遊びを紹介する

できるようになる過程に見
通しや期待をもたせる

仲間が集まる場を用意する

指導の
ポイント
②展開

～自分なりの課題に向けて、あきらめずに取り組めるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



上達の手応えを感じられる
ようにする

保育者が補助したり、一緒
に取り組んだりする

互いの存在が励みになるよ
う友達関係をつなぐ

指導の
ポイント
③まとめ

～達成感や満足感を味わい、次への
意欲や自信につなげるために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



幼児が感じた喜びや達成感
に心から共感する

応援し、認め合うクラスの
雰囲気大切に

自分たちで遊び方や技を考
えることを促す

「頑張ったらできた」実感
をもてるようにする

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 縄跳び・鉄棒
こま回しなど
目的をもって取り組む遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 難しいことに挑戦する面白さを味わい、最後まであきらめずに取り組んでほしい。
- 少しずつ上達する嬉しさや、「できるようになった」という達成感を感じ、自信をもつことで、次の活動への意欲につなげてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～少し難しいことでも「やってみたい」と思えるように～

↓
1つ進む



保育者が投げごまをやってみせる様子。



繰り返し挑戦することや、最初はできなくても少しずつできるようになっていく過程に見通しや期待がもてるような言葉を掛けましょう。



前跳び、後ろ跳び、走り跳び…。それぞれが自分のめあてに向かって繰り返し取り組む様子。



自分たちで「こま回し場」を作って遊ぶ様子。園庭だと他学年も興味をもって集まってくる。

保育者の姿や前年度の5歳児が遊んでいた姿を思い出させることで**憧れの気持ち**をもてるようにしたり、「自分もやってみたい!」という気持ちをもてるようにしましょう。また、クラス全員に**遊びを紹介**する機会をつくりましょう。

場を用意することで、仲間が集まったり、「ちょっとやってみようかな。」と取り組んだりするきっかけとなります。

【こま】積み木で囲い場をつくる、こまを回す板や台を置く【縄跳びや鉄棒】動きや技の種類を例示した視覚物を用意する など

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 縄跳び・鉄棒 こま回しなど 目的をもって取り組む遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 難しいことに挑戦する面白さを味わい、最後まであきらめずに取り組んでほしい。
- 少しずつ上達する嬉しさや、「できるようになった」という達成感を感じ、自信をもつことで、次の活動への意欲につなげてほしい。

指導の
ポイント
②展開

～自分なりの課題に向けて、あきらめずに取り組めるように～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む

必要に応じて、スモールステップの課題を提示したり、意識するとよい「コツ」を知らせたりしましょう。
あきらめない姿や、少しでもできるようになったことを認め、**根気よく取り組む充実感**や**少しずつ上達している手応え**を幼児自身が感じられるようにしましょう。



保育者の助言で、少しずつ体重を前に掛けて歩けるようになってきた竹馬。

少し難しいところは**保育者が補助したり、一緒に取り組んだり**することで、幼児が遊びの面白さやできた嬉しさを実感したり、**コツをつかんだり**できるようにしましょう。



互いに刺激を受け合いながら、友達と一緒に鉄棒に挑戦する様子。

友達と一緒にするから楽しい、友達の姿からコツに気付き試してみる、友達が応援してくれるから頑張れる、**挑戦意欲がより高まる**など、**友達の存在が力や励みになる**よう、互いの関係をつないだり支えたりしましょう。
友達が応援してくれたから頑張れたという経験は、他の友達を応援したり、友達同士で教え合ったりする姿につながります。

手を添えて、投げごまのひもの巻き方を伝えている様子。



後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例① 縄跳び・鉄棒 こま回しなど 目的をもって取り組む遊び

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 難しいことに挑戦する面白さを味わい、最後まであきらめずに取り組んでほしい。
- 少しずつ上達する嬉しさや、「できるようになった」という達成感を感じ、自信をもつことで、次の活動への意欲につなげてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～達成感や満足感を味わい、次への意欲や自信につなげるために～

↑
1つ戻る

「できた!」、「前よりうまくなった!」と
幼児が感じた姿を捉え、**保育者も一緒に心か
ら喜び**、嬉しさや達成感に共感しましょう。



「こんなに高い竹馬に乗れるようになっただよ!」

遊びが発展したり、新たな課題に
挑戦したりする面白さにつながる
ように、自分たちで**遊び方や技を
考える**ことを投げ掛けましょう。



友達や他学年の前で発表する機会を設ける
ことで、より満足感や自信につながるよう
にしましょう。

互いに応援し認め合う温かなクラスの雰囲気
を大切にしましょう。



床で回したこまを紙ですくって
ジャンプさせる技。



紙の上から自分の掌の上に、
こまを移動させる技。

できたことを認めるだけでなく、取組の過
程を振り返って認めることで、「**あきらめな
いで頑張ったらできるようになった!**」とい
うことを幼児が実感し自信をもてるようにし
ましょう。次に難しい課題に直面した際に、
見通しをもち挑戦する姿につながります。

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 発表会

一年間の教育の成果を発表する活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

○クラスのみみんなで共通の目的に向かって力を出し合い、互いのよさを生かして取り組む楽しさや、やり遂げた充実感を共有してほしい。

指導の
ポイント
①導入

～自分たちの成長や活動への期待を感じながら、主体的に取り組めるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



保育者が決めることと幼児と相談することを整理する

自分たちで進められるよう見守り、支える

自信があることを取り入れ、成長を感じられるようにする

見通しをもって進められるようにする

指導の
ポイント
②展開

～目的に向けて力を出し合いながら、自分たちで活動を進める楽しさを感じられるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



アイデアを出しやすい雰囲気をつくる

一人ひとりのよさや持ち味を生かす工夫をする

みんなでつくりあげていく過程を楽しめるようにする

指導の
ポイント
③まとめ

～やり遂げた充実感を味わい、意欲や自信をこれからの生活につなげるために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



気持ちを一つにして、助け合えるようにする

みんなでやり遂げた喜びや充実感を共有する

保護者から認める言葉を掛けてもらう

担任以外の保育者にも認めってもらう

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 発表会

一年間の教育の成果を発表する活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

○クラスのみみんなで共通の目的に向かって力を出し合い、互いのよさを生かして取り組む楽しさや、やり遂げた充実感を共有してほしい。

指導の
ポイント
①導入

～自分たちの成長や活動への期待を感じながら、主体的に取り組めるように～

↓
1つ進む



題材や内容の選定については、**保育者が意図をもって**幼児に投げ掛けたり遊びの中に取り入れたりすることと、**幼児と相談して**決めていくことを整理して進めましょう。

幼児が意見を出し合い内容を決める際には、その後の活動を**自分たちで進められる内容**となるよう、話し合いを見守りながら、時には仲間の一員として提案し支えていきましょう。

これまでの経験を踏まえ、幼児が自信を持っていることや力を発揮できそうなことを取り入れて、**自分たちの成長**を感じられるようにしましょう。



互いに考えを出し合う様子。明らかに実現が難しいことなどは、タイミングをみて保育者から再考を促すことが必要な場合もある。



劇の中で、得意なフラフープを披露する様子。

カレンダーや話し合っただけで決まったことなどを掲示し、発表会までの日程や必要なことが分かるようにして、幼児が**見通しや期待をもって**自分たちで活動を進められるようにしましょう。

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 発表会

一年間の教育の成果を発表する活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

○クラスのみみんなで共通の目的に向かって力を出し合い、互いのよさを生かして取り組む楽しさや、やり遂げた充実感を共有してほしい。

指導の
ポイント
②展開

～目的に向けて力を出し合いながら、自分たちで活動を進める楽しさを感じられるように～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む



「何か思い付いたらどんどん言おう！」
「ここはどうする？」などと投げ掛けて、
幼児が自分のイメージや考え、**アイデアを出し合いやすい雰囲気**をつくりましょう。

人前で表現することに慎重な幼児や、クラス全体で行う活動に興味・関心がもちにくい幼児に対しては、保育者がその幼児の**よさや持ち味を生かす工夫**をしましょう。

幼児のこだわりを生かした場面を取り入れる、衣装・道具などの製作や司会進行などの力を発揮しやすい役割を提示する、安心できる友達と同じ役にする など

友達と**取組を見合う**ことで互いに刺激を受け、表現や遊びの幅が広がります。
また、よかったところ等を伝え合うことで、一人の気づきをみんなの気づきにすることができます。
友達から認められることは、自信につながります。友達がいるからこそよりよいものになっていくことを伝えながら、みんなで作りあげていく**過程を楽しめるように**しましょう。



劇の練習後に気付いたことを話し合う様子。円形に座ると、互いの顔を見ながら話ができる。



後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例② 発表会

一年間の教育の成果を発表する活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

○クラスのみならず共通の目的に向かって力を出し合い、互いのよさを生かして取り組む楽しさや、やり遂げた充実感を共有してほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～やり遂げた充実感を味わい、意欲や自信をこれからの生活につなげるために～

↑
1つ戻る

当日は、みんなで**気持ちを一つ**にして、何かあっても助け合いながら進めるように投げ掛けましょう。



劇の一場面。「台詞を忘れてしまっても、友達がそっと教えてくれる。」と信じられることで、安心して演技できる。

取組後は、幼児が感じたことを出し合いながら、**みんなでやり遂げた喜びや充実感**を共有しましょう。活動をとおして得た自信は、新たなことへの意欲につながります。



一人ひとりが自分の成長を感じられるよう、力を出し合い、友達と一緒に作りあげてきた過程を**保護者に伝え**、認める言葉を掛けてもらいましょう。



合奏を他学年に披露する様子。

他学年などに見せる機会を設けましょう。「かっこいいって言ってたよ。」「まねっこして遊んでいたよ。」などと、**担任以外の保育者**にも認めてもらい、幼児が自信や満足感をさらに味わえるようにしましょう。

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ 小学校での体験授業や最後の園生活
就学への意識や期待が高まる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 友達や保育者と一緒に小学校について知り、就学に期待感をもってほしい。
- 保育園・幼稚園を卒園・修了し、一年生になるという自覚と自信をもって、残りの園生活を過ごしてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～小学校を身近に感じ、就学への期待感をもてるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



交流活動では、打ち合わせを丁寧に行う

視覚教材を活用し、就学へのイメージを膨らませる

不安を受け止め、安心できるよう働き掛ける

指導の
ポイント
②展開

～残りの園生活をより充実させるために～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



相手の立場に立って考えることを促す

自分たちの力で生活を進める姿を認める

園生活の充実感を味わう機会を大切にする

指導の
ポイント
③まとめ

～小学生になる自覚をもち、自分の成長を実感できるように～

クリックすると
詳細な説明
が見られます



身の回りのことを丁寧に行う様子を再確認する

感謝の気持ちを伝えられるようにする

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 ★具体的な活動例①・②・③
 家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ 小学校での体験授業や最後の園生活
 就学への意識や期待が高まる活動

小学校
 入学前教育
 カリキュラム
 P29参照

【保育者の願い】
 ○友達や保育者と一緒に小学校について知り、就学に期待感をもってほしい。
 ○保育園・幼稚園を卒園・修了し、一年生になるという自覚と自信をもって、残りの園生活を過ごしてほしい。

指導の
ポイント
①導入

～小学校を身近に感じ、就学への期待感をもてるように～

↓
1つ進む

体験学習や体験給食などの交流活動では、事前に内容や時間、ねらいなどについて小学校と丁寧^ニに打ち合わせを行い、活動をとおして小学生へ親しみや憧れを感じたり、小学校生活に期待をもったりする機会にしましょう。



小学校の先生の話をしている様子。

小学校生活への不安も受け止めながら、幼児が安心して就学への期待をもてるように、園生活と小学校生活とのつながりを具体的に伝えるようにしましょう。
 「小学校でもクラスみんなで歌ったり運動したりするんだって。」「困ったときは園と一緒に、先生や友達に言おうね。」など



1年生との交流活動や給食体験。



小学校生活について幼児が知っていることを引き出したり、視覚教材(写真・映像等)を活用したりしながら、就学へのイメージを膨らませていきましょう。



「小学生もボールで遊ぶんだね。」
 「体育って言うんだって。」

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうを受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③

小学校での体験授業や
最後の園生活

就学への意識や期待が高まる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 友達や保育者と一緒に小学校について知り、就学に期待感をもってほしい。
- 保育園・幼稚園を卒園・修了し、一年生になるという自覚と自信をもって、残りの園生活を過ごしてほしい。

指導の
ポイント
②展開

～残りの園生活をより充実させるために～

↑
1つ戻る

↓
1つ進む

当番活動などの引き継ぎは、伝えたいことやその伝え方を自分たちで考える機会になります。**相手の立場に立って**言葉や行動を考えることを促し、様子を見守りましょう。



「よく見ててね。」「ここは一人じゃ大変だから、友達と一緒にやってね。」などと言いながら、やって見せる様子。



数日かけて作るひな人形。保育者が示した日までに完成するよう、自分で計画的に進める様子。

見通しや目的をもって様々な活動に取り組んだり、「今日はここまで」などと区切りを付けたりしながら、**自分たちの力で**生活を進める姿を認めて、自信がもてるようにしていきます。

自分たちがしてきたことや楽しかった思い出を振り返ったり、残りの園生活でみんなで実現したいことに取り組んだりできるようにしましょう。
園生活の**充実感をみんなで味わう**機会を大切にしながら、卒園式や修了式に向かう活動を進めていきましょう。



★ドッジボールをしたい。
★園長先生と一緒に昼ご飯を食べたい。
など、『クラスみんなでやりたいこと』を話し合い、毎日1つずつ実現していく方法もある。

後期

就学時健診～



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
この期に大切なこと
身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
★具体的な活動例①・②・③
家庭との連携

みたい
ところを
クリック!

具体的な活動例③ 小学校での体験授業や最後の園生活 就学への意識や期待が高まる活動

小学校
入学前教育
カリキュラム
P29参照



【保育者の願い】

- 友達や保育者と一緒に小学校について知り、就学に期待感をもってほしい。
- 保育園・幼稚園を卒園・修了し、一年生になるという自覚と自信をもって、残りの園生活を過ごしてほしい。

指導の
ポイント
③まとめ

～小学生になる自覚をもち、自分の成長を実感できるように～

↑
1つ戻る



所持品の準備や後始末等、**身の回りのこと**を丁寧に行うことを再確認し、幼児が意識して生活する様子を見守りましょう。



園服をたたんでしまう様子。小学校でも体操着に着替えたり、所持品をロッカーにしまったりするなどの機会は多くある。



手洗いを丁寧に行うこと、ハンカチを忘れずに持ち歩くことなども、幼児と再確認する機会をつくるとよい。

卒園式や修了式は、お世話になった人たちに**自分の成長を伝え、感謝の気持ちを表す**機会であることを知らせましょう。幼児自身の思いや言葉を大切にしながら、自分たちで喜びや感謝の気持ちが表せるように援助していきましょう。



「おうちの人に『毎日送り迎えしてくれてありがとう』って言いたい。」など、式で伝えたい思いをクラスのみんなで出し合う様子。



期の初めに見られる幼児の姿・こんなふうに受け止めましょう
 この期に大切なこと
 身に付けさせたい内容と指導のポイント（計3ページ）
 具体的な活動例①・②・③
 ★家庭との連携

みたい
 ところを
 クリック！

家庭との連携

小学校
 入学前教育
 カリキュラム
 P64, 65参照

就学への期待と不安は保護者の方も同じようにもっています。園生活の中で自信をもって取り組む姿や友達と協働して活動を進める姿などを認めることで、これまでに経験してきたことが幼児の自覚と自信につながります。幼児の不安な気持ちにも共感し、受け止めてあげることで安心して就学できることを伝えていきましょう。また、就学支援シートの活用についても、丁寧に伝えていきましょう。

【家庭と共有するべきポイント】



生活する力

- 身の回りのことを自分で準備・後片付けができるような関わり
- 見通しをもって行動できるような関わり

発見・考え・表現する力

- 小学校での学習に期待がもてるような関わり
- 筋道を立てた話し方、状況に応じた言葉の使い方

かかわる力

- 成長した姿を認め、自信となるような関わり
- 友達と関わることの楽しさや集団生活のよさに共感する関わり

事例集



事例の見方ガイドは
[こちら](#)

前期 進級当初～

【生活する力】

- ・ [当番活動](#) 4月
- ・ [片付け](#) 4月
- ・ [果実の調理](#) 4月～7月

【発見・考え・表現する力】

- ・ [アオムシの飼育](#) 4月～7月
- ・ [誕生会の出し物](#) 5月～7月
- ・ [栽培物の収穫](#) 4月～7月

【かかわる力】

- ・ [こいのぼり製作](#) 4月
- ・ [お花屋さん](#) 4月～5月
- ・ [ゲーム\(ジャンケン\)](#) 5月

中期 秋の運動会頃

【生活する力】

- ・ [ドッジボール](#) 10月～11月
- ・ [集合時刻を意識する](#) 9月～10月
- ・ [食べ物のはたらき](#) 8月～10月

【発見・考え・表現する力】

- ・ [影絵遊び](#) 8月～10月
- ・ [ハンドベルの演奏](#) 9月～11月
- ・ [落ち葉集め](#) 10月～11月

【かかわる力】

- ・ [ルールの確認\(鬼遊び\)](#) 10月
- ・ [グループ製作](#) 10月～11月
- ・ [作戦会議\(リレー\)](#) 9月～10月

後期 就学時健診～

【生活する力】

- ・ [当番活動](#) 11月～2月
- ・ [マラソン遊び](#) 12月～2月
- ・ [こま回し](#) 12月～2月

【発見・考え・表現する力】

- ・ [文字への関心](#) 1月
- ・ [けがの場面](#) 11月～3月
- ・ [氷の実験](#) 1月～2月

【かかわる力】

- ・ [友達のよいところ紹介](#) 1月～3月
- ・ [交通安全指導](#) 2月～3月
- ・ [劇づくり](#) 1月～2月

事例の見方ガイド



事例集トップ
★事例の見方ガイド

みたい
ところを
クリック!

◆ポイント(指導のポイント)

前期・中期・後期、各期の指導のポイントを、「生活する力」、「発見・考え・表現する力」、「かかわる力」それぞれに、3つずつ示しています。

ポイント

- ①使える場や物が増えたことに気付かせ、遊びや生活に取り入れられるようにしましょう
- ②張り切る気持ちを大切に、意欲を高め自己有用感をもてるようにしましょう
- ③必要な約束や生活のルールに気付けるようにしましょう

事例1 【生活に必要なことに気付く】—当番活動— 4月

幼児が、園庭倉庫に砂があることや外階段に落ち葉が溜まることに気付いたので、保育者は幼児が自分たちで使える掃除用具を準備した (①)。

1週間ほど、気付いた幼児に任せていた (②) ところ、「二人だとなかなか終わらない。」、「いろいろな仕事をやりたい。」などと、幼児から声があがった。

どうしたらよいか、保育者が学級全体に投げ掛けた (③) ところ、「みんなで順番に行う」という意見が出た。そこで、取り組む人数や交代の仕方について、保育者も一緒に考え (②)、当番活動として行うことにした。幼児の気付きから当番活動へとつなげたことで、幼児が必要感をもち意欲的に取り組むようになった。



自立心 健康な心と体

◆**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**
エピソード内の幼児の姿と関連性が高いと思われるものを2つ例示しています。

◆下線(丸数字)

保育者の関わりのうち、指導のポイント①～③と関連性が高い箇所を下線と丸数字で示しています。

エピソードを読むことで、指導のポイントをより具体的に理解することに役立ちます。

また、「どうして、これが③なんだろう？」などと疑問に思ったときには、ぜひ他の保育者と話し合ってみましょう。

例示した2つ以外にも、関連性が高いと思われるものはあります。

自分で考えたり、保育者同士で協議したりすると、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿への理解を深めるきっかけとなります。

ポイント

- ①使える場や物が増えたことに気付かせ、遊びや生活に取り入れられるようにしましょう
- ②張り切る気持ちを大切に、意欲を高め自己有用感をもてるようにしましょう
- ③必要な約束や生活のルールに気付けるようにしましょう

事例1 【生活に必要なことに気付く】—当番活動— 4月

幼児が、園庭倉庫に砂があることや外階段に落ち葉が溜まることに気付いたので、保育者は幼児が自分たちで使える掃除用具を準備した (①)。

1週間ほど、気付いた幼児に任せていた (②) ところ、「二人だとなかなか終わらない。」、「いろいろな仕事をやりたい。」などと、幼児から声があがった。

どうしたらよいか、保育者がクラス全体に投げ掛けた (③) ところ、「みんなで順番に行う」という意見が出た。そこで、取り組む人数や交代の仕方について、保育者も一緒に考え (②)、当番活動として行うことにした。幼児の気付きから当番活動へとつなげたことで、幼児が必要感をもち意欲的に取り組むようになった。



自立心 健康な心と体



ポイント

- ①使える場や物が増えたことに気付かせ、遊びや生活に取り入れられるようにしましょう
- ②張り切る気持ちを大切に、意欲を高め自己有用感をもてるようにしましょう
- ③必要な約束や生活のルールに気付けるようにしましょう

事例2【自分たちの生活の場を整える】一片付け— 4月

自分たちが使った遊具は進んで片付けをしたが、誰が使用したか分からない遊具には誰も手を付けず、時間が過ぎても出たままだった。どの幼児も自分ではないと主張した。そこで保育者が「みんなで過ごす場所は、このままでいいかな。」と問い掛けた(③)ところ、少し考えてから、落ちている物を拾い、所定の位置に戻し始めた。みんなが生活する場という意識をもてるようにしたことで、自分たちで片付けるようになった。

道徳性・規範意識の芽生え 自立心





ポイント

- ①使える場や物が増えたことに気付かせ、遊びや生活に取り入れられるようにしましょう
- ②張り切る気持ちを大切に、意欲を高め自己有用感をもてるようにしましょう
- ③必要な約束や生活のルールに気付けるようにしましょう

事例3【食べることの楽しさを味わう】—果実の調理— 4月～7月

数人の幼児が園庭のクワの木に実がたくさんなっていることに気付いた。保育者がそのことをクラス全体に伝え、どのようにしたいかを投げ掛けた (①) ところ、「今年の年長組さんみたいにジャムにして食べよう。」と決まった。保育者は敢えて作り方を教えず、「どうやって作るのかな。」とつぶやいた (②)。すると家庭で保護者に聞いたり、調べてきたりする幼児が出てきたので、幼児が調べてきた調理法を基に、一緒にジャム作りを進めることにした

(②)。保育者は衛生面や安全面で気を付けなければいけないことを幼児と確認し (③)、「どんな味がするのか。」、「早く食べたい!」と食べることを楽しみにする幼児の気持ちに共感した。幼児はクワの実を集めて軸を取ったり、砂を洗い落としたりして、自分たちで積極的に準備していた。 **自然との関わり・生命尊重 社会生活との関わり**





ポイント

- ①保育者と一緒に、様々な試しや工夫ができる面白さを感じられるようにしましょう
- ②解決を急がず、やり取りを考える様子を見守りましょう
- ③興味や関心をもった事象を取り上げ、遊びを広げるきっかけをつくりましょう

事例4【好奇心や探究心をもって関わる】—アオムシの飼育— 4月～7月

幼児が園庭でアオムシを見つけた。保育者は、よく見えるように1匹ずつ飼育ケースに入れ、
幼児の目に触れやすい場所に置き、成長が分かるよう写真で記録を撮り掲示した (③)。幼児
は、アオムシに愛着や関心をもちアオムシをよく観察するようになった。「昨日より大き
くなった。」「やった!サナギになった。」「サナギはどこからもってきたのかな。」等、
気付いたことや不思議に思ったことを幼児同士で伝え合う姿が見られた。

保育者は幼児が自分たちで知ったり調べたりすることができるよう
に、アオムシに関する絵本や図鑑を用意しておいた (③)。すると、
幼児は友達と一緒に調べたり観察を続けたりし、図鑑で調べたとおり
10日で羽化したことに驚いたり、喜んだりし、命の尊さや、羽化した
チョウの美しさに感動していた。

自然との関わり・生命尊重 思考力の芽生え





ポイント

- ①保育者と一緒に、様々な試しや工夫ができる面白さを感じられるようにしましょう
- ②解決を急がず、やり取りを考える様子を見守りましょう
- ③興味や関心をもった事象を取り上げ、遊びを広げるきっかけをつくりましょう

事例5【思ったことや考えたことをいろいろな方法で表現する】—誕生会の出し物—

5月～7月

A児が絵に描いた花を工夫して立体的にした。保育者がA児の作品をクラス全体に紹介した (③) ところ、友達から「とってもいいね!」と賞賛の声が上がった。そこで、保育者がA児の作品を使って誕生会の出し物を考えてはどうかと提案する (③) と、一緒にやりたい幼児が7人集まり、自分たちでお話をつくってペープサートで演じることになった。保育者が幼児に自分のイメージや考えを友達に伝えるように促した (②) ことで、幼児同士で「鬼ごっこの話にしようよ。」、「いいね。」等、お話のイメージをやり取りする姿が見られた。誕生会当日、会に参加している4歳児の前で自信をもって演じることができた。

豊かな感性と表現 協同性





ポイント

- ①保育者と一緒に、様々な試しや工夫ができる面白さを感じられるようにしましょう
- ②解決を急がず、やり取りを考える様子を見守りましょう
- ③興味や関心をもった事象を取り上げ、遊びを広げるきっかけをつくりましょう

事例6【数量に関心をもつ】—栽培物の収穫— 4月～7月

学年で育てているエンドウ豆がたくさん収穫できた。4～5人の幼児が「これ大きいよ。」、「いや、こっちの方が大きい。」と、収穫したエンドウ豆の大きさに興味をもった。「こっちの方が重いかな。」と保育者が両手にエンドウ豆を載せて重さを比べて見せる (①) と、幼児も同じようにやってみた。そこで、保育者は幼児と一緒に身近な物を使って天秤を作り、天秤の仕組み(物を載せて手を放し、下がった方が重い) を知らせる (①) と、幼児がエンドウ豆の重さ比べを始めた。保育者が重かった方のエンドウ豆のさやのふくらみから、中の豆の数を数えてみる (②) と、幼児も「きっと、中に豆がたくさん入っているんだよ。」と予想し、実際にサヤを開いて豆の数を数え出した。重かった方の豆の数が多かったので、「思った通りだ!」と喜んだ。

その後、天秤を使い、身の回りの遊具や用具を載せては試すことを繰り返し、物を比べる楽しさを味わうとともに、物には重さがあるということに気付いた。 **数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 思考力の芽生え**



事例 前期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例7

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ①話し合いや遊びが進めやすい人数にしましょう
- ②理解しやすく、共通になるように視覚化しましょう
- ③新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、全体へ周知する機会をつくりましょう

事例7【友達の気持ちに気付いたり受け止めたりする】—こいのぼり製作— 4月

進級して初めてのグループ活動として、こいのぼり製作を投げ掛けた。話し合いを進めやすいように保育者が意図的に、気の合う幼児同士などの3人組のグループを設定した (①)。グループで相談する項目や選択肢を示した「相談シート」を保育者が作って渡し (②)、幼児は自分たちで全体の色、うろこの形、うろこの色の3つを決めた。話し合いの中で、自分と異なる友達の意見に耳を傾けたり、友達の意見を聞いて考え直したりしながら製作に取り組んだ。

どんなこいのぼりにするか、話し合いのポイントを絞ったことで、友達同士で話し合うことができ、力を合わせて作り上げる達成感を味わうことができた。



協同性 言葉による伝え合い

事例 前期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例8

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ①話し合いや遊びが進めやすい人数にしましょう
- ②理解しやすく、共通になるように視覚化しましょう
- ③新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、全体へ周知する機会をつくりましょう

事例8 【気の合う友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう】—お花屋さん— 4月～5月

散歩先でハナミズキの花がたくさん落ちていた。「持って帰ってお花屋さんをやろう。」と、幼児2人が花を拾ってビニール袋に詰め、帰園後、タライに水を張って浸けた。昼食中も、どのように花屋をするかを2人で話し合っていたので、保育者は二人の考えや思いを受け止めながら様子を見守った。食べ終わると二人はさっそくお花屋さんごっこを始めた。2人のイメージに合った花屋の場づくりを保育者も一緒に手伝った (②)。

2人はビニール袋の中に水と1～2個の花を入れた商品を、店の前に水がこぼれないように工夫して並べた。「お客さんが来るといいね。」と保育者が投げ掛ける (③) と、二人は他学年の幼児を呼んだり、目立つように看板を作ったりした。園内の多くの幼児が関わり、お花屋さんごっこを楽しんだ。 **自然との関わり・生命尊重 社会生活との関わり**



事例 前期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例9

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ①話し合いや遊びが進めやすい人数にしましょう
- ②理解しやすく、共通になるように視覚化しましょう
- ③新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、全体へ周知する機会をつくりましょう

事例9【自分の考えの受け止められ方に気付く】ーゲーム（ジャンケン）ー 5月

2チームに分かれて相手チームの友達とジャンケンをし、勝ったら相手から宝をもらうという遊びをした。1回戦後、チームごとに宝を数えることになった。片方のチームはA児の発案で、みんなで「1～2～」と数唱し、その声に合わせて宝を持った手を順に挙げる方法で数えた。何度か試すが、同時に手を挙げる幼児が複数いてうまく数えられない。保育者は「相手チームの数え方（床に宝を並べて指を指して数える）なら、すぐに数えられるみたいだよ。」と別の方法を伝えた（②）。幼児の多くはその方法で数えようと言うがA児は自分の考えた方法にこだわり、みんなを巻き込んで何度もやり直したが、結局うまく行かなかった。

2回戦が始まる時、A児は「やりたくない」とつぶやいた。保育者はA児が自分で気持ちを切り替えられるよう、そのつぶやきには答えず様子を見守るようにした。その後A児は、相手チームの友達に誘われてジャンケンをするうちに、気持ちを立て直し、再び遊びに参加することができた。 **思考力の芽生え 道徳性・規範意識の芽生え**



ポイント

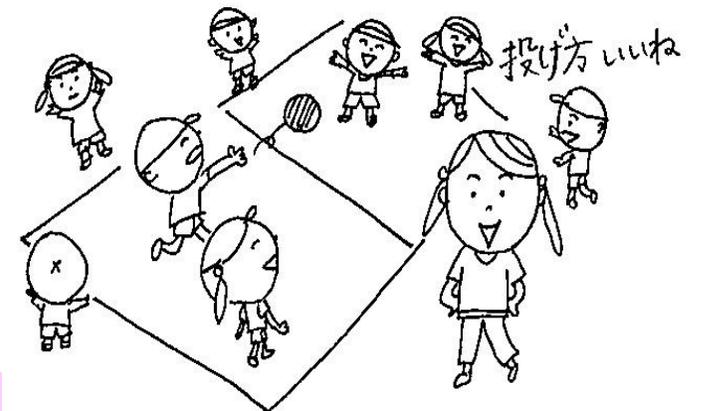
- ①幼児が活動や時間に見通しをもちやすいように、説明や提示の仕方を明確にしましょう
- ②個人・クラス・園で使用する物の扱い方や始末の仕方を伝え、目的や遊び方に合った使用や収納ができるようにしましょう
- ③クラスの興味に応じて遊びを提示し、様々な種類の遊びを楽しむ機会がもてるようにしましょう

事例10【集団での遊びを楽しむ】—ドッジボール— 10月～11月

運動会后、新しい遊びとしてドッジボールを取り入れた (③)。この日も数人の幼児が、保育者が用意しておいたラインカー (②) を使って自分たちでコートを描いて遊び始めた。保育者も仲間の一員となり、「ボールが当たったら外に出るんだったよね。」などと言いながら動き、ルールを浸透させていった (③)。ルールが定着すると多くの幼児が以前よりも体を動かすようになったため、保育者は「Aさんのボールの投げ方がいいね！

「Bさんのよけ方は素早い！」などと具体的に言葉を掛けながら一緒に楽しんだ。

遊び込むうちに「ルールを変えて面白くしよう。」という声が幼児から出て、友達同士で考えを出し合い、試しながら遊びを進めていく姿が見られた。 **健康な心と体 道徳心・規範意識の芽生え**



ポイント

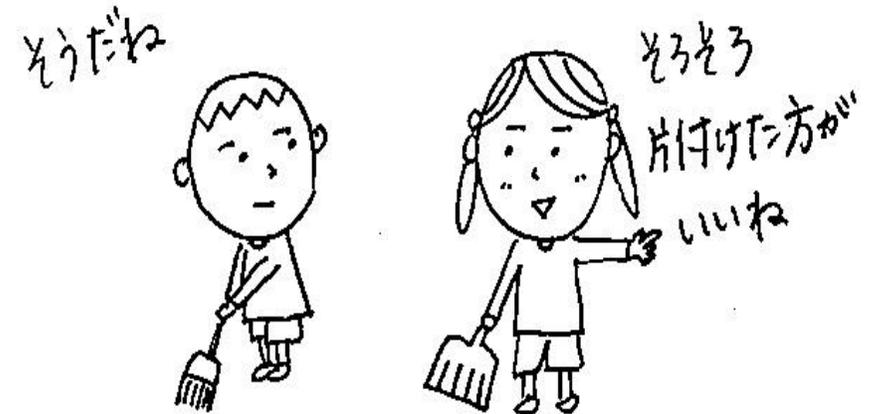
- ①幼児が活動や時間に見通しをもちやすいように、説明や提示の仕方を明確にしましょう
- ②個人・クラス・園で使用する物の扱い方や始末の仕方を伝え、目的や遊び方に合った使用や収納ができるようにしましょう
- ③クラスの興味に応じて遊びを提示し、様々な種類の遊びを楽しむ機会がもてるようにしましょう

事例11【生活に見通しをもつ】—集合時刻を意識する— 9月～10月

当番活動中、ある幼児が時計を見て「12時になったら弁当だから、そろそろ片付けた方がいいんじゃない？」と友達に声を掛けた。そして、みんなで力を合わせて時間に間に合うように当番の仕事を終えることができた。その日の降園時に、保育者は友達同士で声を掛け合っていたことを紹介して認めた (①)。

翌日以降、他の幼児も友達に弁当の時間を知らせるようになり、弁当までの時間を気に掛けるようになった。

健康な心と体 自立心



ポイント

- ①幼児が活動や時間に見通しをもちやすいように、説明や提示の仕方を明確にしましょう
- ②個人・クラス・園で使用する物の扱い方や始末の仕方を伝え、目的や遊び方に合った使用や収納ができるようにしましょう
- ③クラスの興味に応じて遊びを提示し、様々な種類の遊びを楽しむ機会がもてるようにしましょう

事例12【様々な食べ物に興味や関心をもって食べようとする】—食べ物のはたらき—

8月～10月

昼食時、A児は隣で食べていたB児に「知ってる？野菜をちゃんと食べることが大切なんだって。」と、自分の知っていることを得意気に話している。それを聞いたB児も「お肉を食べると力が出るんだよ。」などと話し、周りの幼児も関心をもって聞く姿が見られた。栽培活動を通して食べ物への関心が高まってきていることを感じた保育者は、食べ物や栄養等に関する絵本・図鑑等を多く用意することにした (③)。すると、多くの幼児が本を手にとって見ながら、「これってどういう意味？」と保育者に尋ねるようになった。

その後、「たくさん食べるよ!」「ピーマンは苦手だけど、今日は食べてみる。」といった声が聞かれ、幼児の食べる意欲がより高まっていった。 **健康な心と体** **社会生活との関わり**

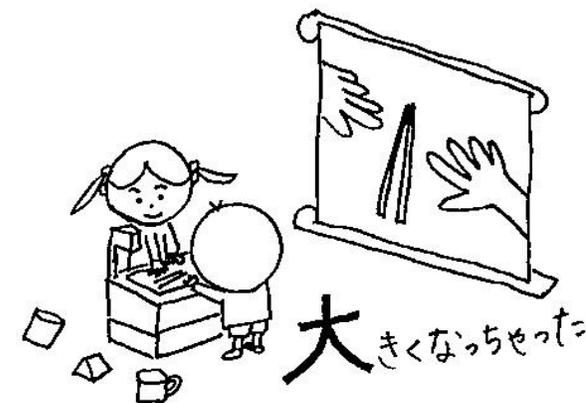


ポイント

- ① 幼児の好奇心から始まった遊びを、自分たちで進められるように用具・素材を用意しましょう
- ② 幼児一人ひとりの考えや工夫を、表現できる機会や場をつくるようにしましょう
- ③ 相手に分かりやすい伝え方や、話を聞く時の正しい姿勢・態度等を知らせましょう

事例13 【物の仕組みに関心をもって遊ぶ】—影絵遊び— 8月～10月

数名の幼児がOHPシートに絵を描いてお話作りをしていた。保育者がクラス全体に発表する場を設けると(②)、みんなでお話や絵を楽しんで見ていた。A児がOHP機器の前に手をかざし「手が映っている、面白い。」と影ができることに気付いたことがきっかけとなり、影遊びが始まった。翌日、クラスで影絵クイズを楽しむことにし、鉛筆やコマなどの身近なもの、葉っぱなどの自然物を準備しておき(①)、2～3人の友達と一緒に「何をしているところか」を影絵で表現する遊びを楽しんだ。「わあ！大きくなっちゃった。」と光源のそばで動かすと影が大きくなることや、「あれ？鉛筆が見えないな。」と持っている物を他の影と重ならないようにすることなどに気づき、光と影の面白さや不思議さを感じていた。



大きくなっちゃった

思考力の芽生え 豊かな感性と表現

ポイント

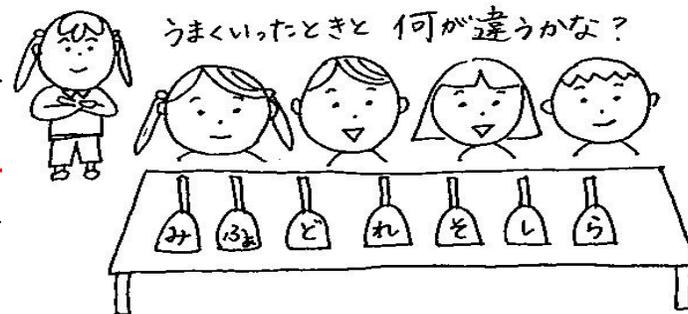
- ① 幼児の好奇心から始まった遊びを、自分たちで進められるように用具・素材を用意しましょう
- ② 幼児一人ひとりの考えや工夫を、表現できる機会や場をつくるようにしましょう
- ③ 相手に分かりやすい伝え方や、話を聞く時の正しい姿勢・態度等を知らせましょう

事例14【友達と目的を共有し、考えを出し合いながら遊ぶ】—ハンドベルの演奏—

9月～11月

4名の幼児がハンドベルの音階を分担して「きらきらぼし」の曲で合奏遊びを始めたが、「Aさんの順番だよ!」、「間違えちゃった!」と、曲の最後までメロディーが繋がらないときがあった。保育者が「うまくいったときと何が違うのかな?」と問い掛けると(②)、B児が「並び方が違う」と答えた。保育者が「どういうこと?やりながら話してみてください。」と促す(③)と、B児はハンドベルを音階の順に並び替えながら「ドレミの順番に並んでいないってこと。」と、他児の前で説明した。すると、「なるほど!そうすると分かりやすいね。」、「前で、次にどの音を鳴らすのか教える人もいたほうがいいね。」などと、B児の考えを受け止めたり、新しい考えを伝えたりする姿が見られた。

保育者が見守る中、4名は自分たちで並び方や鳴らす音の順番を確認しながら合奏する。自分たちで気付いたこと、それを伝え合ったことを認める(③)と、繰り返し音階の分担を替えて合奏遊びを楽しんだ。 **協同性 豊かな感性と表現**



ポイント

- ① 幼児の好奇心から始まった遊びを、自分たちで進められるように用具・素材を用意しましょう
- ② 幼児一人ひとりの考えや工夫を、表現できる機会や場をつくるようにしましょう
- ③ 相手に分かりやすい伝え方や、話を聞く時の正しい姿勢・態度等を知らせましょう

事例15 【秋の自然物等を取り入れて遊ぶ】—落ち葉集め— 10月～11月

幼児が園庭で落ち葉を拾い集める。「同じ形だけどこっちは少し赤い。」「この葉っぱはギザギザ尖っているね。」と、様々な種類があることや種類が同じでも色や大きさに違いがあることを比べて面白がっている。保育者は、遊びに発展するように大きな模造紙を用意した (①)。すると、幼児は模造紙の上に拾った葉を並べ、「この葉っぱの形を2つつなげると蝶になるよ。」「この形をつなげていくと、ライオンのたてがみになりそうじゃない？」などと、友達同士でイメージを伝え合いながら葉を貼り付けて、次々と作品を作り始めた。できあがった作品を他児が気付きやすい場所に掲示したり (②)、製作コーナーに木の実や小枝、ビーズ、竹ひごなど準備したりする (①) と、興味をもった幼児が葉の形や色を選んで模造紙に貼ったり、他の材料と組み合わせてアクセサリーを作ってお店屋さんごっこをしたりする姿が見られた。 **豊かな感性と表現 自然との関わり・生命尊重**



事例 中期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例16

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ①互いの気持ちを伝え、認め合えるように仲介し、折り合いをつけようとする姿を見守りましょう
- ②力を合わせて共通の活動に取り組み、達成感や充実感を味わえるようにしましょう
- ③新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、全体へ周知する機会をつくりましょう

事例16【ルールのある遊びを楽しむ】—ルールの確認（鬼遊び）— 10月

2チームに分かれて行う鬼ごっこを10人で楽しんでいたが、捕まった幼児が逃げる、捕まる寸前で遊びから抜けるなど、ルールを守らない幼児が数名出てきた。それに気付いたA児が不満を保育者に訴えた。保育者は以前からそのような様子が気になっていたため、クラス全体で再度ルールを確認し合う機会をもった（③）。また、ルールを守れていないとどのようなことが困るか、守れている幼児がどのような気持ちになるかなども話し合った（①）。

それぞれの気持ちを確認したことをきっかけに、ルールを守りながら、集中し楽しむようになった。

道徳性・規範意識の芽生え 協同性



事例 中期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例17

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ①互いの気持ちを伝え、認め合えるように仲介し、折り合いをつけようとする姿を見守りましょう
- ②力を合わせて共通の活動に取り組み、達成感や充実感を味わえるようにしましょう
- ③新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、全体へ周知する機会をつくりましょう

事例17【自分と異なる考えに折り合いを付けながら活動に取り組む】—グループ製作— 10月～11月

クラスで「大きくて乗れるもの」というテーマで4つの動物を作ることにした。あるグループはゾウを作ることにした。「グレーにしたい。」「ピンクがいい。」と2つの意見が出た。保育者は互いの思いやその理由を伝えるよう仲介した(①)。A児は図鑑を持ってきて、「本物はグレーだよ。」と言うが、B児は「ピンクの方がかわいくていいよ。」と主張する。C児が、「ピンクだと、これゾウなのかなってお客さんに思われちゃうかも。」と言うが、B児は納得しない。保育者も話し合いに加わり、それぞれの気持ちや理由が分かったことを確認し、改めてグループ全体に思いを尋ねる

(①)と、「本物みたいにした方がいいよ。」と灰色を選ぶ幼児が多かった。すると、B児も少し考え「じゃあ、いいよ。」と応じた。保育者はB児が自分で気持ちを整理したことを認める言葉を掛けた(①)。

言葉による伝え合い 思考力の芽生え



事例 中期 かかわる力



事例集トッポ
事例の見方ガイド
★前期 事例18

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ①互いの気持ちを伝え、認め合えるように仲介し、折り合いをつけようとする姿を見守りましょう
- ②力を合わせて共通の活動に取り組み、達成感や充実感を味わえるようにしましょう
- ③新しく始めたことや自分なりに試して発見したことを、全体へ周知する機会をつくりましょう

事例18【グループの友達と協力し、話し合いながら活動を進める】— 作戦会議（リレー）— 9月～10月

運動会に向けてチーム対抗リレーを楽しんでいる。AチームがなかなかBチームに勝てずにいるので、保育者が「作戦会議をしよう！」とAチームで集まって話し合いをする機会をつ
くった。「どうやったら勝てるかな？」と問い掛けて目的を明確にし、考えを出し合えるよう
にした（②）。「Bチームはよそ見して走ってない。」「Aチームはバトンを2回も落とした。」などと、幼児が気が付いたことを言い合う。保育者が「いいことに気が付いたね。」と認める（①）と、「次はバトンの渡し方に気を付けて走ろう。」「並ぶ順番は足の速いCさんが1番がいいんじゃない?」「掛け声を作ろう!」と、友達同士で新しい考えを提案するようになった。

その後、自分たちでバトンの渡し方を練習するなど、チームの気持ちが一つにまとまっていった。

協同性 言葉による伝え合い



ポイント

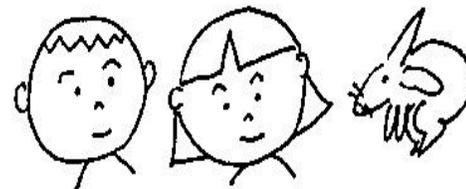
- ① 幼児が自ら挑戦したくなる遊具を用意したり、保育者自身も挑戦する姿を見せたりして意欲を引き出しましょう
- ② 葛藤や悔しさに共感し、個々の課題への挑戦意欲につながるようにしましょう
- ③ 自分たちで生活を進める中で、充実感や自己肯定感をもてるようにしましょう

事例19 【時間を意識しながら生活する】—当番活動— 11月～2月

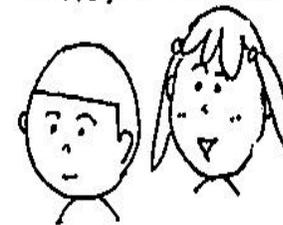
降園前、翌日の活動について話し合っていると、当番活動をいつ行うかについて様々な意見が出た。そこで、保育者は自分たちで決めてはどうかと提案し、翌日のタイムテーブルを図にして当番活動ができる時間帯を明示した(③)。幼児は「自分たちで決めていいの? やったあ!」と喜び、グループごとに集まって多数決やジャンケンなどをしながら相談して決めた。

翌朝、幼児は張り切った様子で、集合時刻や待ち合わせの場所をグループの友達と確認していた。飼育物の世話を担当するグループは、「ウサギは、朝、お腹がすいているからすぐしよう。」と言い、飼育物の世事に責任をもって取り組む姿が見られた。他のグループでも、約束していた集合時刻になると仲間と声を掛け合い、当番活動に意欲的に取り組んだ。 **自立心** **協同性**

すぐお世話ね



お腹すいちやうね



ポイント

- ① 幼児が自ら挑戦したくなる遊具を用意したり、保育者自身も挑戦する姿を見せたりして意欲を引き出しましょう
- ② 葛藤や悔しさに共感し、個々の課題への挑戦意欲につながるようにしましょう
- ③ 自分たちで生活を進める中で、充実感や自己肯定感をもてるようにしましょう

事例20【危険な遊び方に気づき、安全に行動する】—マラソン遊び— 12月～2月

数人の幼児が園庭でマラソンをしようと、三角コーンを並べてコースを作った。他学年が近くで遊んでいるのを目にしたA児が、ぶつかる危険なことに気づき、B児にそのことを伝えた。2人はコースの境目を分かりやすくするために棒で線を引いた。

実際にマラソン遊びが始まると、3歳児が線を越え、コースを横切ろうとした。すると、保育者より先にA児が「もも組さん、危ないから向こうで遊んでいてね。終わったら呼んであげるね。」と、優しく教える姿が見られた。

保育者は後から「よく気付いたね。」と、A児にそっと声を掛けた(③)。

自立心 健康な心と体



ポイント

- ① 幼児が自ら挑戦したくなる遊具を用意したり、保育者自身も挑戦する姿を見せたりして意欲を引き出しましょう
- ② 葛藤や悔しさに共感し、個々の課題への挑戦意欲につながるようにしましょう
- ③ 自分たちで生活を進める中で、充実感や自己肯定感をもてるようにしましょう

事例21 【繰り返し挑戦する】—こま回し— 12月～2月

正月遊びの一つとして投げごまを用意した (①)。こまに紐を巻くことが難しく、遊びをやめていく幼児が多かった中で、A児は何度も繰り返し挑戦していた。その様子を見た保育者はこま回しが得意なB児に、A児に教えるよう投げ掛けた。A児は「これで合ってる？」と紐の巻き方をB児に確認する。A児はこまに紐を巻けるようになったが、回せず悔しがった。A児はB児に「頑張れ！」と励まされ、毎日繰り返し練習をしていた。保育者も難しい技に挑戦し、「あきらめないぞ。」と繰り返し練習する姿を見せるようにした (①)。

数日後、A児が初めてこまを一人で回せるようになった。A児とB児は「やった！」と喜び合い、感覚を確かめるようにA児はこまを繰り返し回していた。その日の降園時の活動で、頑張ったことを発表する場をつくると、A児は「今日は、こまを回せて嬉しかった。B児がいつも教えてくれた。」と発表した。翌日になるとA児は、挑戦する他児に「ここはね…」と見本を見せながら教えていた。 **自立心 協同性**





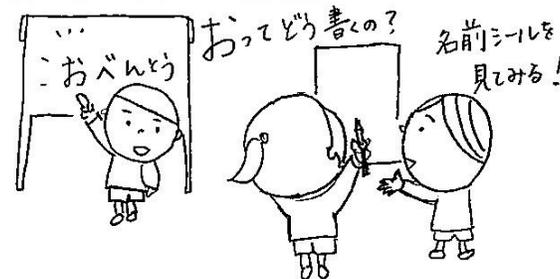
ポイント

- ① 試行錯誤したり、最後まで粘り強く取り組んだりできる時間や遊具・用具を確保しましょう
- ② 自分たちで活動を進める中で、実現や解決のために必要なことに気付けるようにしましょう
- ③ 先回りせず幼児の話を引き出すような投げ掛けをしたり、幼児が状況に応じた言葉遣いを意識できるようにしたりしましょう

事例22【文字を使うことの楽しさや意味に気付く】—文字への関心— 1月

年賀状に興味をもった幼児が郵便屋さんごっこを始めた。「おめでとうの『お』ってどう書くの?」、「ロッカーの名前を見ればいいね。」などと、保育室の環境の中にある文字を自分たちで見付け、まねしながら書いている。「『あけましておめでとう』の他には何を書けばいい?」とA児が尋ねてきたので、保育者は「Bさんに書いているのね。Bさんに何か伝えたいことある?」と投げ掛けた(③)。A児は「『今度、こま対決しよう』って書く!」と自分なりに考え、続きを書く姿が見られた。

1月下旬、降園時に保育者が今後の行事や生活の予定をホワイトボードに書いて伝えた。話が終わるとA児は紙と鉛筆を出し、ホワイトボードの内容を写し始めた。保育者がその様子を見守っている(①)と、A児は「忘れないように書いて持っておくことにしたよ。」と笑顔を見せる。他児からも「書きたい!」と声があがったので、翌日、紙と鉛筆を用意しておく(①)と、ホワイトボードの字を見たり、難しい部分を保育者に聞いたりしながら書く姿が見られた。



ポイント

- ① 試行錯誤したり、最後まで粘り強く取り組んだりできる時間や遊具・用具を確保しましょう
- ② 自分たちで活動を進める中で、実現や解決のために必要なことに気付けるようにしましょう
- ③ 先回りせず幼児の話を引き出すような投げ掛けをしたり、幼児が状況に応じた言葉遣いを意識できるようにしたりしましょう

事例23 【相手に分かるように話す】一けがの場面— 11月～3月

A児が足のすねをさすりながら保育者のところに来る。保育者はA児の足の状態を確認しながら「どうしたの?」と聞く(③)と、A児は「Bちゃんを呼びに行こうと思って、2階の部屋に行こうとしたら、階段でつまずいて足を打った。」と言う。「それは痛かったね。」と保育者は受け止めた。手当てをしながら、「何があってけがをしたのか、先生は見ていなかったけれど、今のお話でとってもよく分かったよ。」と、けがをした状況を道筋を立てて分かりやすく話した幼児を認める言葉を掛けた(②)。

言葉による伝え合い 自立心





ポイント

- ① 試行錯誤したり、最後まで粘り強く取り組んだりできる時間や遊具・用具を確保しましょう
- ② 自分たちで活動を進める中で、実現や解決のために必要なことに気付けるようにしましょう
- ③ 先回りせず幼児の話を引き出すような投げ掛けをしたり、幼児が状況に応じた言葉遣いを意識できるようにしたりしましょう

事例24 【冬の自然現象に興味をもつ】—氷の実験— 1月～2月

園内の池に氷が張ったことを発見し、「氷ってどうやってできるんだろう？」と言いながら、数名の幼児が氷を作る実験を始めた。保育者が活動の展開を予想し、様々な容器を用意しておく (①) と、幼児たちはその中からプラスチック容器を選び、水を入れた。翌朝、容器の中の水は凍っていなかった。幼児たちは、容器を置いた場所が寒くなかったことが原因と考えて、園内を回って「一番寒い場所」を探し、木や遊具の陰になる場所に水を入れた容器を置いた。しかし、翌日も氷が張っていなかった。幼児たちは「今度は違う入れ物で試してみよう！」と、それぞれが金属製のお皿や大きなたらいなど、材質や形が異なる容器を集めて試すことにした。

3日目の朝、登園するとすぐに「今日は寒いからきっと凍っているはず！」と予想を立てて見に行くと、金属製の皿と大きなたらいに薄く氷が張っていることを発見して喜ぶ姿が見られた。保育者もその喜びに共感しながら、初日から3日目まで試行錯誤したり、予想を立て発見したりしたことを認める言葉を掛けた (①)。





ポイント

- ① 友達のよさを感じ、伝え合う喜びが感じられるようにしましょう
- ② 目的を達成するために幼児同士がやり取りする姿を認め、共感しましょう
- ③ 他学年や小学生などに関わる機会をつくって、就学への意識が高まるようにしましょう

事例25 【友達と互いのよさを認め合う】—友達のよいところ紹介— 1月～3月

「Aさんの考え、いいね。」、「Bさんは縄跳びがいっぱい跳べるんだね。」などと、幼児から友達を認める言葉が多く聞かれるようになってきたので、降園前に友達のよいところを紹介する機会を設けた (①)。保育者が「Cさんの素敵などころはどんなところ?」と問い掛けると、幼児から「優しい。」、「足が速い。」などの発言があった。保育者が「Dさん、この間困っていたときにCさんはどうしてくれたのかな?」と具体的な場面を思い出せるように言葉を掛ける (①) と、D児はC児が自分にしてくれたことを話し始めた。

翌日以降も、別の幼児のよいところ紹介を行い、クラス全員のよいところを出し合った。幼児からは「けがをしたら、『大丈夫?』って声を掛けてくれた。」、「あきらめずに何回も頑張って、フラフープを回せるようになったんだよ。」など、具体的な場面を思い出して友達のよさを認める言葉が出てくるようになった。**言葉による伝え合い 自立心**

事例 後期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例26

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ① 友達のよさを感じ、伝え合う喜びが感じられるようにしましょう
- ② 目的を達成するために幼児同士がやり取りする姿を認め、共感しましょう
- ③ 他学年や小学生などに関わる機会をつくって、就学への意識が高まるようにしましょう

事例26 【自分で考えて行動する】—交通安全指導— 2月～3月

2月に入り、4月からは一人で登下校することを意識できるように、警察の方から交通安全 についての話を聞いたり、実際に横断歩道を一人で歩いたりする機会を設けた (③)。練習の後、「一人で歩けるよ。」「青信号になったら右左を見て渡るんだよ。」と、保護者や下の学年の友達に伝える姿が見られた。保育者は、幼児が学んだことを理解して自分の言葉で人に伝える姿を認め、自信がもてるようにした (③)。

その後、「もうすぐ、1年生になるんだもんね。」「先生に言われなくても、自分で考えてやるんだよ。」などと、就学を意識した言葉が聞かれ、実践しようとする姿が見られるようになった。

自立心 社会生活との関わり



事例 後期 かかわる力



事例集トップ
事例の見方ガイド
★前期 事例27

みたい
ところを
クリック!

ポイント

- ① 友達のよさを感じ、伝え合う喜びが感じられるようにしましょう
- ② 目的を達成するために幼児同士がやり取りする姿を認め、共感しましょう
- ③ 他学年や小学生などに関わる機会をつくって、就学への意識が高まるようにしましょう

事例27【同じ目的に向かって一人ひとりが力を発揮する】—劇づくり— 1月～2月

発表会で「さるかに合戦」の劇をしようと、全員が張り切って準備していた。「白が落ちてくるところは高い方がいいから、巧技台で台を作らない?」、「いいね!そこから段ボールで作った白を落としてもいいね。」、「力持ちのAさん、Bさん、一緒に巧技台を運ぼう。」などと友達と一緒に準備を進めていく。保育者が、友達の得意なところに自分たちで気付いていることを認める言葉を掛ける (①) と、A児は嬉しそうに巧技台に登り、「Bさんは大きくて力があるから、一緒に白役やろう。」と友達を誘い、他児も「じゃあ、私たちは踊りが上手だからハチになろう。」などと役を決めていく。保育者は「みんなの力を合わせると面白いさるかに合戦の劇になりそうだね。」と、劇に向けて自分の得意なことを生かしたり、友達のよさを捉えて提案したりする姿を認めた (②)。その後も幼児同士でやり取りをしながら、劇づくりを楽しむ姿が見られた。



協同性 豊かな感性と表現

【港区保育園・幼稚園・小学校連絡協議会】

委員長 上村 隆 (教育委員会事務局学校教育部長)
副委員長 中村 美奈子 (港区立赤羽小学校長)
委員 村岡 恵美子 (愛星保育園長) 上坂元 絵里 (愛育幼稚園長)
小玉 直美 (港区立西麻布保育園長) 藤井 未知江 (港区立三光幼稚園長)
木下 典子 (子ども家庭支援部保育課長) 瀧島 啓司 (教育委員会事務局教育人事企画課長)
篠崎 玲子 (教育委員会事務局教育指導担当課長)

【港区保育の向上検討部会】

部会長 藤井 未知江 (港区立三光幼稚園長)
副部会長 小玉 直美 (港区立西麻布保育園長)
部員 佐々木 恵子 (港区立伊皿子坂保育園副園長) 丹治 敦 (港区立芝保育園保育士)
満行 恵子 (港区立西麻布保育園保育士) 俵 陽子 (港区立白金台幼稚園副園長)
清水 佳那 (港区立赤羽幼稚園主任教諭) 宮城 玲子 (港区立中之町幼稚園主任教諭)

【事務局】

平田 景子 (子ども家庭支援部保育課運営支援係副係長)
佐々木 勝世 (教育委員会事務局幼児教育担当専門官)
下橋 良平 (教育委員会事務局統括指導主事)

5歳児指導ポイント集改訂版
令和5年(2023年)3月
港区・港区教育委員会

